

PowerShot SX740 HS

使用説明書 活用編

日本語

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(12)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

- 右下のボタンをクリックすると、ページを移動できます。
 - ▶ : 次のページ
 - ◀ : 前のページ
 - 🔗 : リンクをクリックする直前に表示していたページ
- 右端にある章のタイトルをクリックすると、各章の先頭ページに移動します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

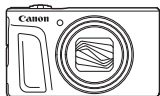


お使いになる前に

最初にお読みください

カメラと付属品の確認

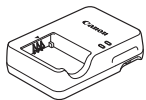
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありませんでしたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ



バッテリーパック*



バッテリーチャージャー



リストストラップ

* バッテリーに外装として貼り付けられているラベルは、はがさないでください。

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません (図2)。

使えるカード (市販品) について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD (エスディー) メモリーカード*¹
- SDHC (エスディーエイチシー) メモリーカード*¹ *²
- SDXC (エスディーエックスシー) メモリーカード*¹ *²



*¹ SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*² UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、修理受付窓口へご相談ください。
- モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。また、() 内は「各部のなまえ」(図 4) にある該当する操作部材の番号を示しています。
 - ▲ 背面 (12) 上ボタン
 - ◀ 背面 (8) 左ボタン
 - ▶ 背面 (13) 右ボタン
 - ▼ 背面 (15) 下ボタン
 - 背面 (7) コントローラーホイール
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ⓘ : 知っていただきたい重要事項を示しています。
- ✎ : 上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- 📖 xx : 参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

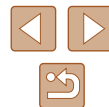
無線機能

設定メニュー

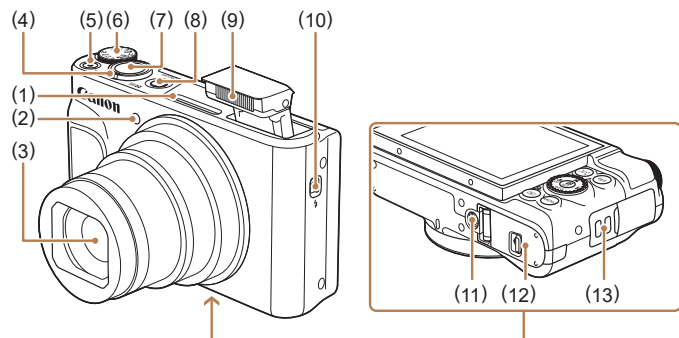
アクセサリ

付録

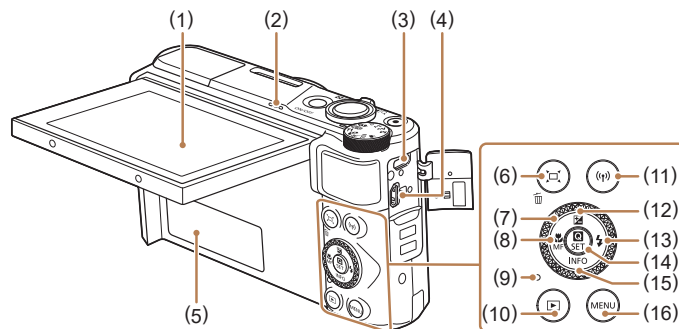
索引



各部のなまえ



- | | |
|--|--------------------------|
| (1) マイク | (7) シャッターボタン |
| (2) ランプ（前面） | (8) 電源ボタン |
| (3) レンズ | (9) ストロボ |
| (4) ズームレバー
撮影時：[M]（望遠）／
[W]（広角）
再生時：Q（拡大）／
[R]（インデックス） | (10) [S]（ストロボポップアップ）スイッチ |
| (5) 動画ボタン | (11) 三脚ねじ穴 |
| (6) モードダイヤル | (12) カード／バッテリー収納部ふた |
| | (13) ストラップ取り付け部 |



- | | |
|---|--------------------------------|
| (1) モニター | (9) ランプ（背面） |
| (2) スピーカー | (10) [P]（再生）ボタン |
| (3) DIGITAL（デジタル）端子 | (11) [Wi-Fi]（Wi-Fi）ボタン |
| (4) HDMI™ 端子 | (12) [C]（露出補正）／▲上ボタン |
| (5) シリアル番号（機番） | (13) [S]（ストロボ）／▶右ボタン |
| (6) [F]（フレーミングアシスト - 探索）
／[X]（1 画像消去）ボタン | (14) [Q]（クイック設定メニュー／設定）
ボタン |
| (7) コントローラーホイール | (15) INFO（インフォメーション）／
▼下ボタン |
| (8) [M]（マクロ）／
MF（マニュアルフォーカス）／
◀左ボタン | (16) MENU（メニュー）ボタン |



- コントローラーホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、▲／▼／◀／▶ボタンと同じ操作ができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



目次

お使いになる前に

最初にお読みください.....	2
カメラと付属品の確認.....	2
使えるカード（市販品）について.....	2
お使いになる前にお読みください.....	3
このガイドの記載について.....	3
各部のなまえ.....	4
やりたいこと目次.....	10
安全上のご注意.....	12

基本編

カメラの基本操作.....	14
準備する.....	14
ストラップを取り付ける.....	14
カメラを構える.....	14
バッテリーを充電する.....	15
バッテリーとカード（市販品）を入れる.....	15
バッテリーとカードを取り出す.....	16
日付／時刻／エリアを設定する.....	16
表示言語を選ぶ.....	17
試してみる.....	18
撮る.....	18
見る.....	19
消す.....	19

活用編

カメラを知る.....	20
電源の入れかた／切りかた.....	20
シャッターボタンの押しかた.....	21
撮影モードの切り換えかた.....	21
撮影時の画面表示の切り換えかた.....	22
モニターの角度調整.....	22
クイック設定画面の表示と操作方法.....	23
MENU（メニュー）の表示と操作方法.....	23
文字の入力方法.....	24
ランプの表示.....	25
撮影画面に表示される枠.....	25
オートモード／プラスムービーオートモード.....	26
カメラまかせで撮る.....	26
オートモードで撮る（こだわりオート）.....	26
プラスムービーオートモードで撮る.....	28
ダイジェスト動画の再生について.....	29
静止画.....	29
動画.....	29
シーンのアイコン.....	29
手ブレ補正アイコン.....	30
よく使う機能や便利な機能を使う.....	30
被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）.....	30
見失った被写体を見つけやすくする （フレーミングアシスト - 探索）.....	31
被写体の動きに応じて自動でズームさせる （オートズーム）.....	31
画面に対して保たれる顔の大きさを変える.....	32
日付を写し込む.....	33
セルフタイマーを使う.....	33

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



連続して撮る	34
自分好みの画像を撮るための機能を使う	34
縦横比（アスペクト比）を変える	34
記録画質を変える	35
用紙の大きさと選ぶときの目安 （縦横比 4:3 のとき）	35
撮影の手助けとなる機能を使う	35
グリッドを表示する	35
自動水平補正を使わないようにする	36
手ブレ補正の設定を変える	36
手ブレ補正を使わないようにする	36
撮影前の画面と同じ大きさと動画を撮る	37
自分好みに機能を変える	37
AF 補助光（ランプ）が光らないようにする	37
赤目緩和機能を切る	38
撮影直後の画像表示時間を変える	38
いろいろな撮影モード	39
料理を明るく鮮やかに撮る（料理）	39
自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）	40
動きのある被写体を撮る（スポーツ）	41
いろいろなシーンで撮る	41
効果をつけて撮る	42
美肌の効果をかけて撮る（美肌）	43
単色で撮る（ラフモノクロ）	43
優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）	44
魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）	44
油絵のような画像にする（油彩風）	45
水彩画のような画像にする（水彩風）	45
トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）	46
ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）	46
いろいろな動画を撮る	47

動画の記録サイズを変える	47
明るさを変える（露出補正）	47
オートスローシャッターを使わない	48
非常に強い手ブレを補正する	48
音声を設定する	48
ウィンドカットを使わない	48
アッテネーターを使う	48
タイムラプス動画を撮る	49
ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）	49
再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）	49
ビデオスナップを撮影する	50
P モード	51
プログラム AE で撮る（P モード）	51
明るさ（露出）に関する機能を使う	52
明るさを変える（露出補正）	52
明るさ（露出）を固定する（AE ロック）	52
測光方式を変える	52
ISO 感度を変える	53
明るさ・コントラストを自動補正する （オートライティングオブティマイザ）	53
色に関する機能を使う	54
自然な色あいにする（ホワイトバランス）	54
マニュアルホワイトバランス	54
ホワイトバランスを補正する	55
好みの色あいを選ぶ（スタイル設定）	55
撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う	56
近くの被写体を撮る（マクロ撮影）	56
マニュアルフォーカスで撮る	56
ピント合わせをしやすい表示にする （MF ビーキング）	57
デジタルテレコンバーターを使う	57

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



AF 方式を選ぶ.....	57
じ + 追尾優先 AF.....	58
ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (キャッチ AF)	58
中央	59
サーボ AF で撮る.....	59
フォーカス設定を切り換える	60
AF ロックで撮る.....	60
ストロボに関する機能を使う	61
ストロボモードを変える	61
ストロボ自動発光	61
ストロボ発光.....	61
スローシンクロ	61
ストロボ発光禁止	61
ストロボの調光量を補正する	62
FE ロックで撮る	62
撮影スタイルにあわせて機能を変える	63
手ブレ補正の設定を変える	63
Tv、Av、M モード.....	64
シャッタースピードを決めて撮る (Tv モード)	64
絞り数値を決めて撮る (Av モード)	65
シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (M モード).....	65
ストロボ発光量を設定する	66
再生	67
見る	67
表示を切り換える.....	68
高輝度 (ハイライト) 警告.....	69
ヒストグラム.....	69
GPS 情報表示.....	69
画像の送信履歴	69

静止画を撮影したときに作成された短編動画 (ダイジェスト動画) を見る	69
画像を探したり、特定の画像だけを見る	70
一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す	70
指定した条件で画像を探す	70
いろいろな方法で画像を見る	71
拡大して見る	71
スライドショーで見る	72
保護する	72
まとめて保護する.....	72
指定方法を選ぶ	72
1 枚ずつ指定する	73
範囲で指定する	73
すべての画像を指定する.....	74
消す	74
まとめて消す	74
指定方法を選ぶ	74
1 枚ずつ指定する	75
範囲で指定する	75
すべての画像を指定する.....	76
回転する	76
お気に入り設定をする (レーティング).....	77
静止画を編集する	77
画像を小さくする (リサイズ)	77
画像を切り抜く (トリミング)	78
赤目を補正する	79
動画を編集する.....	79
動画の前後を削除する	79
4K 動画のフレームを静止画として切り出す	80
ファイルサイズを小さくする	80
ダイジェスト動画を編集する	81

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



ビデオスナップを結合して動画作品を作る	82
無線機能	83
無線機能でできること	83
無線機能の準備をする	84
カメラの事前準備	84
スマートフォンの事前準備	85
スマートフォンと Bluetooth 接続する	85
[Bluetooth 機能] の画面について	86
Bluetooth 機能	86
ペアリング	86
接続先情報の確認／登録解除	86
Bluetooth アドレス	86
スマートフォンでカメラを操作する	86
撮影する画像に位置情報を付加する	87
位置情報の確認方法	87
スマートフォンと Wi-Fi 接続する	88
Bluetooth 接続中のスマートフォンと Wi-Fi 接続する	88
Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する	88
アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法	89
スマートフォンでカメラを操作する	89
カメラ内の画像一覧	89
リモートライブビュー撮影	89
スマートフォンに画像を送る	90
カメラのメニュー操作でスマートフォンに	
画像を送る	90
カメラで画像を再生してスマートフォンに	
画像を送る	90
撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する	90
公開する画像を設定する	90
Wi-Fi 接続を終了する	91
パソコンに画像を自動送信する	91

プリンターと Wi-Fi 接続する	93
アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法	94
Web サービスへ画像を送る	94
利用する Web サービスの情報を登録する	94
CANON iMAGE GATEWAY を登録する	95
ほかの Web サービスを登録する	96
Web サービスに画像を送る	97
2 回目以降の Wi-Fi 接続	97
無線通信の設定を編集／消去する	98
接続設定を変更／削除する	98
無線通信の設定を初期化する	99
Bluetooth でペアリングしている機器の	
登録を解除する	99
設定メニュー	100
カメラの基本機能を変える	100
電子音を鳴らさない	100
音量を変える	100
レンズ収納時間を変える	101
エコモードを使う	101
節電機能の設定を変える	101
画面の明るさを変える	101
起動画面を表示しない	102
カードを初期化する	102
カードを物理フォーマット (初期化) する	102
フォルダを選択／作成する	103
画像番号のつけかたを変える	103
自動回転機能を切る	104
距離表示の単位を変える	104
認証マークを確認する	104
表示言語を変える	104
HDMI 出力解像度を変える	105
その他の基本機能を変える	105

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



カメラの設定を初期状態に戻す	105
基本設定を初期化する	105
無線通信の設定を初期化する	105
機能の説明を表示しない	105
アクセサリ	106
システムマップ	106
別売アクセサリ	107
電源	107
その他	108
プリンター	108
別売アクセサリの使いかた	108
テレビで見る	108
バッテリーを入れて充電する	109
パソコンを使って充電する	111
ソフトウェアを使う	111
パソコンに画像を取り込む	112
印刷する	112
かんたん印刷	112
印刷設定をする	113
印刷指定 (DPOF)	113
印刷内容を指定する	113
印刷する画像を指定する	114
印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する	114
フォトブック指定	115
1枚ずつ指定する	115
複数の画像をまとめて指定する	115
付録	116
故障かな？と思ったら	116
メッセージ一覧	118
画面の表示内容一覧	119

撮影時（詳細情報表示）	119
バッテリーの残量表示	119
再生時（詳細情報表示）	120
日ごろの取り扱いについて	121
主な仕様	121
撮像素子	121
レンズ	121
シャッター	122
絞り	122
ストロボ制御	122
モニター	122
撮影関係	122
記録関係	123
電源	123
インターフェース	123
動作環境	124
大きさ（CIPA 準拠）	124
質量（CIPA 準拠）	124
バッテリーパック NB-13L	124
バッテリーチャージャー CB-2LH	124
コンパクトパワーアダプター CA-DC30	124
索引	125
無線機能について	127
第三者のソフトウェア	128
カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときの ご注意	129
商標、ライセンスについて	129
このガイドについて	130

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



やりたいこと目次

📷 撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
 - 26、28
- 料理を明るく鮮やかに撮りたい（料理）
 - 39
- 自分撮りに最適な設定で撮りたい（自分撮り）
 - 40

人を上手に撮りたい



人をきれいに
(41)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



スポーツ
(41)



夜景
(41)



花火
(41)

効果をつけて撮りたい



肌を美しく
(43)



油絵のように
(45)



柔らかな雰囲気で
(44)



魚眼レンズのように
(44)



ミニチュア模型のように
(46)



モノクロで
(43)



水彩画のように
(45)



トイカメラ風に
(46)

- 人の顔を上手に撮りたい
 - 26、41、58
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
 - 61
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
 - 33
- 画像に日付を写し込みたい
 - 33
- 写真と一緒に動画を記録したい
 - 28

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



📺 見る

- 画像を見たい
 - 📖 67
- 自動再生で見たい（スライドショー）
 - 📖 72
- テレビで見たい
 - 📖 108
- パソコンで見たい
 - 📖 112
- 画像を素早く探したい
 - 📖 70
- 画像を消したい
 - 📖 74

📽️ 動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 - 📖 26、📖 47
- 動画を見たい
 - 📖 67

🖨️ 印刷する

- 写真を印刷したい
 - 📖 112

💻 残す

- パソコンに画像を取り込みたい
 - 📖 112

📶 Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 - 📖 85、📖 88
- Web サービスで画像を共有したい
 - 📖 94
- パソコンに画像を送りたい
 - 📖 91

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/ プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

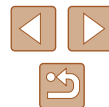
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



安全上のご注意

- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
- お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
感電、破裂、火災の原因となります。
- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。
視力障害の原因となります。

- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。
 - 指定外の製品で使わない。
 - 熱したり、火中投入しない。
 - 指定外の製品で充電しない。
 - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 液漏れしたものは使わない。
 - 廃棄するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

感電、破裂、火災の原因となります。

液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。

- バッテリーチャージャーや AC アダプターを使うときは、次のことに注意する。
 - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
 - ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
 - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーや AC アダプターに触れない。
 - 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
 - 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
 - 電源に長時間つないだままにしない。

感電、破裂、火災の原因となります。

- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





注意

傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを目に近付けて発光しない。
目をいためる恐れがあります。
- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となります。
- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となります。
- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。
撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。
- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。
そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。
- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。
液漏れにより故障の原因となることがあります。
- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。
長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。
- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。
バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。
- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。
故障の原因となることがあります。
- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。
画面の破損の原因となります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



基本編

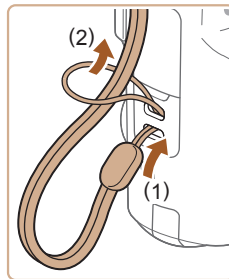
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

準備する

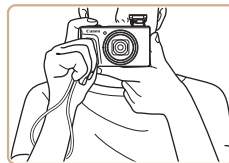
ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



- (1) ストラップの先端を取り付け部に通して、(2) 通した先端にストラップを通します。

カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

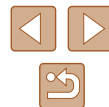
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

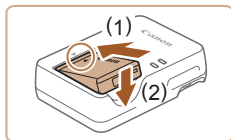
付録

索引



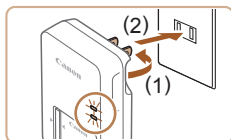
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。



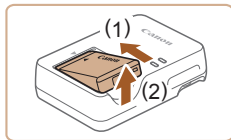
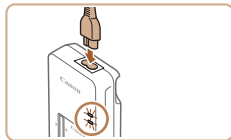
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り付けます。



2 充電する

- バッテリーチャージャーを図のようにコンセントにつなぎます。
- 電源コードがあるタイプのバッテリーチャージャーは、電源コードをバッテリーチャージャーにつないで、反対側をコンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り外します。



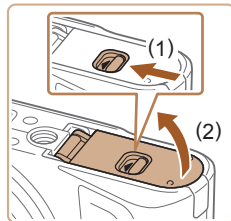
- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。



- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

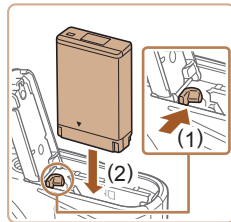
バッテリーとカード（市販品）を入れる

付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（[102](#)）することをおすすめします。



1 ふたを開ける

- (1)の方向にスイッチを動かして、(2)の方向へふたを開けます。



2 バッテリーを入れる

- バッテリーで、バッテリーロックを (1)の方へ押しながら、バッテリーを (2)の方向に「カチッ」と音がしてロックされるまで入れます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

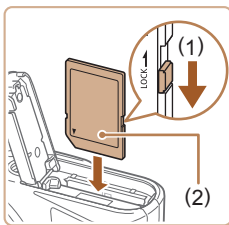
設定メニュー

アクセサリ

付録

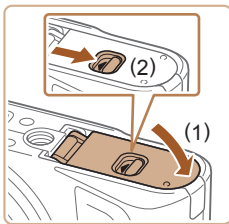
索引





3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

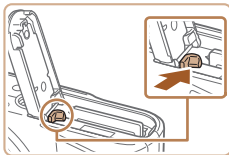
- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを(1)の方向に動かします。
- カードのラベル面(2)を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



4 ふたを閉める

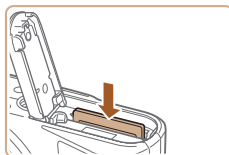
- ふたを(1)の方向にたおして押さえたまま、スイッチを(2)の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。

■ バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

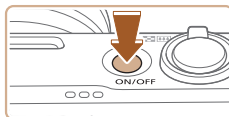


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

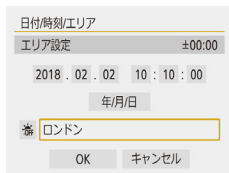
日付／時刻／エリアを設定する

現在の日時を設定します。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- [日付／時刻／エリア] 画面が表示されます。



2 エリアを設定する

- ◀/▶ボタンで項目を選び、Ⓢボタンを押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



エリア設定	
2018/02/02 10:10:00	
アソレス諸島	-01:00
ロンドン	±00:00
パリ	+01:00
カイロ	+02:00
モスクワ	+03:00

- もう一度 $\odot$ ボタンを押し、▲/▼ボタンで項目を選び、 $\odot$ ボタンを押します。

日付/時刻/エリア

(2018/02/02)

2018 . 02 . 02 10 : 10 : 00

年/月/日

※ ロンドン

OK キャンセル

- [OK] を選び、[日付 / 時刻 / エリア] に戻ります。

日付/時刻/エリア

(2018/02/02)

2018 . 02 . 02 10 : 10 : 00

年/月/日

※ ロンドン

OK キャンセル

3 日付/時刻を設定する

- ◀/▶ボタンで項目を選んで $\odot$ ボタンを押し、▲/▼ボタンで日付や時刻を設定して、 $\odot$ ボタンを押します。
- [OK] を選び、 $\odot$ ボタンを押します。



- 電源を入れたときに [日付 / 時刻 / エリア] 画面が表示されたときは、現在の日時/エリアを正しく設定してください。

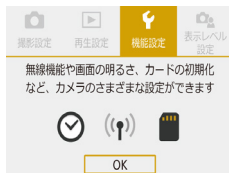


- 日付/時刻/エリア設定は、MENUボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[🔧] メニュー (23) の [日付 / 時刻 / エリア] を選んで設定することもできます。
- 日付/時刻/エリアを設定する画面で、[🌞] を [🌙] にすると、サマータイム (1 時間プラスされます) に設定されます。

表示言語を選ぶ



1 メニューを表示する



2 機能設定メニューを選ぶ

- ◀/▶ボタンで [🔧] を選び、 $\odot$ ボタンを押します。



3 [言語] を選ぶ



4 言語を設定する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

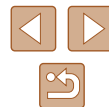
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



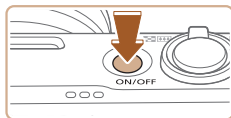
使ってみる

▶ 静止画 ▶ 動画

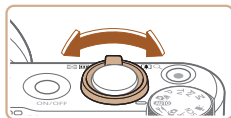
ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る

オートモードでは、カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

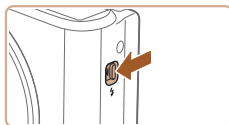
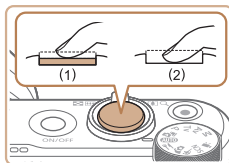


1 電源を入れてAUTOモードにする



2 撮りたいものの大きさを決める

- 画面を見ながらズームレバーを動かします。



3 撮影する

静止画を撮る

- シャッターボタンを浅く押します (1)。
- ピントが合うと「ビッ」と電子音が2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるので、シャッターボタンを深く押し込みます (2)。
- ストロボを使用するときは、スイッチを動かして、ストロボを上げてください。暗いところでは、撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

動画を撮る

- 動画ボタンを押すと撮影がはじまり、もう一度動画ボタンを押すと撮影が終わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

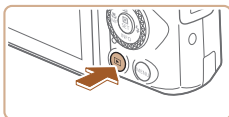
アクセサリ

付録

索引



見る



1 再生表示にする

- ▶ ボタンを押します。



2 画像を選ぶ

- ◀ / ▶ ボタンを押すか ● ホイールを回すと前後の画像が表示されます。
- 動画では、[SET] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- ボタンを押したあと、[▶] を選び、もう一度 ● ボタンを押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET] が表示されます。
- 音量は、再生中に ▲ / ▼ ボタンを押して調節します。

■ 消す

表示している画像を消すときは、次の操作で行います。なお、消した画像はもとに戻すことはできません。

1 消すボタンを押す

- ### 2
- ◀ / ▶ ボタンを押すか ● ホイールを回して [消去] を選び、● ボタンを押す

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

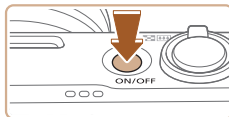


活用編

カメラを知る

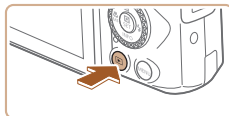
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生のほか、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生表示

- 再生表示ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- 再生表示ボタンをもう一度押すか、電源ボタンを押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態では再生表示ボタンを押すと、再生表示になります。
- 再生表示の状態ではシャッターボタンを半押し（21）したり、モードダイヤルを回すと（21）、撮影モードになります。
- 再生表示では、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、再生表示ボタンを押すと電源が切れます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

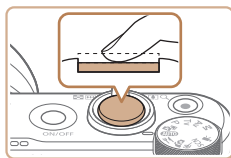
索引



シャッターボタンの押しかた

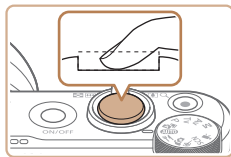
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

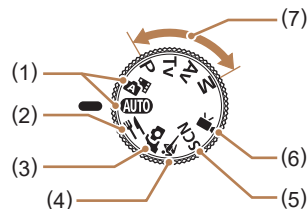
- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



- オートモード／
プラスムービーオートモード
AUTO / カメラまかせの全自動撮影ができます（[18](#)、[26](#)、[28](#)）。
- 料理モード 料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます（[39](#)）。
- 自分撮りモード 自分撮りに適した設定で撮影できます（[40](#)）。
- スポーツモード 動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます（[41](#)）。
- スペシャルシーンモード **SCN**撮影シーンにあわせた撮影やいろいろな効果をつけた撮影ができます（[41](#)）。
- 動画モード 動画が撮影できます（[47](#)）。なお、動画モード以外でも動画ボタンを押すだけで動画撮影できます。
- P、Tv、Av、Mモード
P / Tv / Av / M各種機能を設定して、さまざまな撮影ができます（[51](#)、[64](#)）。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



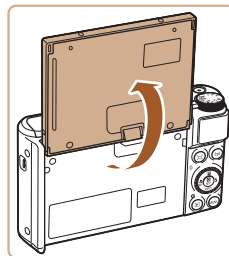
撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、▼ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(P119)を参照してください。

	簡易情報表示
	詳細情報表示
	情報表示なし

モニターの角度調整

撮影シーンや目的に応じて、画面の向きや角度を調整することができます。



- モニターは約 180° まで開くことができます。
- 撮影モードで画面を開いてレンズ側に向けると、画像が鏡像（左右反転）で表示されます。



- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- モニターは、故障の原因となるため無理に広げないでください。



- [P] メニュー (P23) の [鏡像表示] で [切] を選ぶと、鏡像表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



クイック設定画面の表示と操作方法

撮影時や再生時によく使う機能は、**[Q]**（クイック設定）画面で設定できます。

なお、表示される設定項目や設定内容は、選んでいる撮影モードによって変わります。



1 クイック設定画面を表示する

- **[Q]** ボタンを押します。



2 設定項目を選ぶ

- **▲ / ▼** ボタンで項目 (1) を選びます。

3 設定内容を選ぶ

- **◀ / ▶** ボタンで内容 (2) を選びます。
- **[MENU]** が表示される項目では、**MENU** ボタンを押して設定します。

4 設定を終える

- **[Q]** ボタンを押します。



- クイック設定画面で設定できる項目は、**MENU** でも設定できます。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。設定項目は撮影 **[📷]** や再生 **[📺]** などの系統に分けられていて、それぞれ複数のタブで分類されています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードによって変わります。



1 メニューを表示する

- **MENU** ボタンを押します。

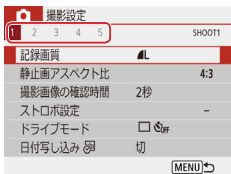


2 メインタブを選ぶ

- **◀ / ▶** ボタンを押して、メインタブを選び、**[Q]** ボタンを押します。

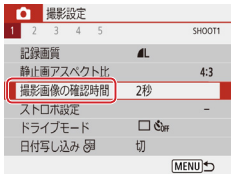
3 サブタブを選ぶ

- **◀ / ▶** ボタンを押して、サブタブを選びます。



4 設定項目を選ぶ

- **▲ / ▼** ボタンを押して設定項目を選び、**[Q]** ボタンを押します。
- 設定項目によっては、**[Q]** ボタンを押して画面を切り換えたあと、さらに **▲ / ▼** ボタンを押して項目を選びます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

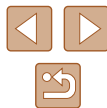
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





5 設定内容を選ぶ

- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押して設定内容を選び、**SET** ボタンを押します。

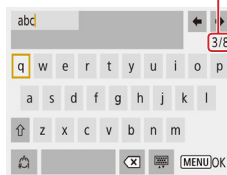
6 設定を終える

- **MENU** ボタンを押すと手順 2 の画面に戻り、もう一度押すと撮影画面に戻ります。

文字の入力方法

文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

- (1) 文字を入力する
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押すか **ホイール** を回して目的の文字が表示されているキーを選び、**SET** ボタンを押します。
 - [⇐] を選んで **SET** ボタンを押すと、大文字を入力できます。
 - 文字数 (1) は機能によって異なります。



入力位置を移動する

- [⇐] か [⇒] を選んで **SET** ボタンを押します。

文字の種類を変える

- [⇐] を選んで **SET** ボタンを押します。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- [✕] を選んで **SET** ボタンを押すと前の 1 文字が消去されます。

もとの画面に戻る

- **MENU** ボタンを押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/ プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

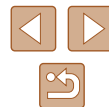
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ランプの表示

カメラ背面のランプ (📖 4) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	静止画撮影時のカードへの記録／読み出し中
緑	ゆっくりと点滅	画面消灯時（ディスプレイオフ）
緑	点滅	動画撮影時のカードへの記録／読み出し中、Wi-Fi データ送受信中
オレンジ	点灯	USB 充電中
オレンジ	点滅	USB 充電エラー



- カードへの記録／読み出し中は、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことはしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になることがあります。

撮影画面に表示される枠

白の枠	主被写体と検出した顔やものに表示されます。複数検出したときは、主被写体以外には灰色の枠が表示されます。
緑の枠	シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに表示されます。
青の枠	動いている被写体にピントを合わせ続けているときに表示されます。シャッターボタンを半押ししている間、表示されます。
黄色の枠	シャッターボタンを半押しして、ピントが合わないときに表示されます。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、**P**モード (📖 51) で撮影することをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



オートモード/ プラスムービーオートモード

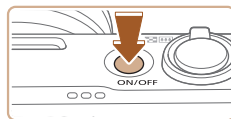
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

オートモードでは、カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

オートモードで撮る（こだわりオート）

▶ 静止画 ▶ 動画



1 電源を入れる



2 AUTOモードにする

- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーン（1）と手ブレ補正のアイコン（2）が表示されます（[29](#)、[30](#)）。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

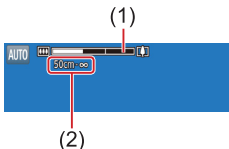
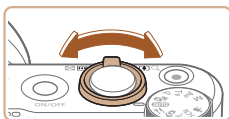
設定メニュー

アクセサリ

付録

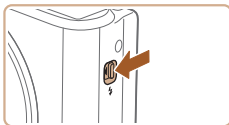
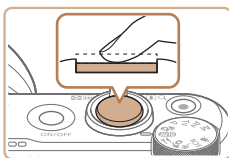
索引





3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを左右に動かします。
- ズームの位置を示すズームバー (1) と、ピントの合う範囲 (2) が表示されます。



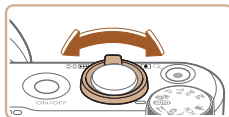
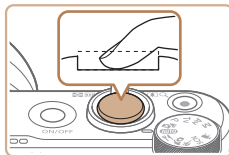
4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。
- 複数の枠が表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。

- ストロボを使用するときは、スイッチを動かして、ストロボを上げてください。暗いところでは、撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。



2) 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます (暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります)。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。

動画撮る

1) 撮影をはじめ

- 動画ボタンを押すと撮影がはじまり、[●REC] (2) と撮影時間 (1) が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

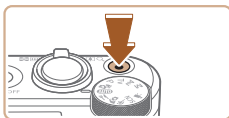
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと撮影が完了します。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が完了します。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 撮影モードにする

2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順3～4（26）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。



3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順4（26）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、**AUTO**モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり**撮影モード**を選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音と振動が記録されます。



- ダイジェスト動画の記録サイズは、**[FHD 29.97P]**（NTSC 時）または**[FHD 25.00P]**（PAL 時）です。ビデオ方式の設定によって異なります。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に**撮影モード**で作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約4GBになるか、記録時間が約29分59秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき
 - サマータイムの設定、ビデオ方式、エリア設定を変えたとき
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。**[カメラ]**メニュー（23）の**[ダイジェスト形式]**を選び、**[静止画なし]**を選んでください。
- チャプターを使って編集することもできます（81）。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ダイジェスト動画の再生について

📷モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生することができます (📖69)。

静止画



- [📷] が点滅表示したときは手ブレしやすいので、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ（前面）が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに [🔋] が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。



- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (📖38)。

動画



- 動画撮影するときは、マイク (1) をふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
 - 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、「撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る」 (📖37) の手順で設定してください。
 - 1回の撮影で容量が4GBを超える動画はファイルが分割されることがあります。分割された動画を自動で連続再生することはできません。動画ごとに再生してください。
 - 暗いところで撮影すると、自動的にシャッタースピードが遅くなる場合があります。シャッタースピードを遅くすることでノイズが低減されます（オートスローシャッター）。
- 📷モードで【オートスローシャッター】を [しない] にすると、画像は暗くなりますが、被写体ブレが少なく、よりなめらかな動画を撮影できます (📖48)。



- 音声はステレオで録音されます。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

📷 / AUTOモードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、**Pモード** (M 51) で撮影することをおすすめします。

手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）され、以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときの手ブレを補正（流し撮り）*
	マクロ撮影するときの角度ブレとシフトブレを補正（ハイブリッド IS）。動画では が表示され、さらに も加えた手ブレを補正
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード）
	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



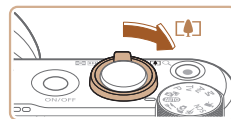
- [手ブレ補正] を [切] に設定 (M 36) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- **Pモード** では にはなりません。

よく使う機能や便利な機能を使う

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

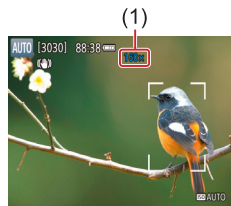
▶ 静止画 ▶ 動画

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 160 倍まで拡大できます。



1 ズームレバーを 側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。



2 もう一度 側に押す

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。



- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数 (M 35) によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- デジタルズームを使わないようにするには、[📷] メニュー (📖23) の [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます。

見失った被写体を見つけやすくする (フレーミングアシスト-探索)

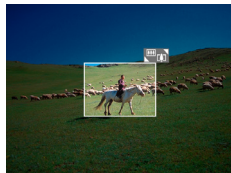
▶ 静止画 ▶ 動画

ズーム中に被写体を見失ったとき、いったんズーム倍率を下げて被写体を見つけやすくなります。



1 見失った被写体を探す

- 🔍 ボタンを押したままにします。
- ズーム倍率が下がり、🔍 ボタンを押す前の表示範囲の目安が白い枠で表示されます。



2 被写体をとらえなおす

- 白い枠の中に被写体が入るようにして、🔍 ボタンから指を放します。
- 手順 1 の白い枠内が画面いっぱいになる倍率になります。



- ズーム倍率を下けている間は、一部の撮影情報は非表示になります。
- 動画撮影中に🔍 ボタンを操作しても白い枠は表示されません。また、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。



- 手順 1 の画面でシャッターボタンを押すと、そのときのズーム倍率で撮影されます。
- 🔍 ボタンを押したままズームレバーを動かすと、白い枠の大きさが変わり、🔍 ボタンを放したあとのズーム倍率を変えることができます。
- 🔍 ボタンを押しているときの表示範囲を変えるときは、[📷] メニュー (📖23) の [🔍表示範囲] で3段階から選べます。
- セルフタイマー (📖33) でシャッターボタンを全押ししたあとは、🔍 ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

被写体の動きに応じて自動でズームさせる (オートズーム)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが人の顔を検出 (📖58) すると、顔が一定の大きさに保たれるよう自動でズームします。人がカメラに近づくとき自動でズーム倍率が下がり、人がカメラから離れるとき自動でズーム倍率が上がります。また、顔の大きさは変えることができます。



1 🔍 オートモードにする

- 🔍 ボタンを押して、すぐに指を放します。
- [🔍] が表示されます。
- 顔が検出されると白い枠が表示され、被写体となる人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
- 複数の顔が検出されているときは、主被写体の顔には白い枠、その他の顔には灰色の枠が最大2つまで表示され、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



2 撮影する

- 撮影後も枠が表示され、自動でズームします。
- もう一度「**□**」ボタンを押すと、「**□**オート：切」が表示され、解除されます。



- 顔が横や斜めを向いているときやズーム倍率によっては、画面に対する顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 動画撮影中は、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。
- 「**□**オート：入」にしている間は、一部の撮影情報は非表示になり、一部の撮影機能の設定はできなくなります。
- 動画撮影中は、複数の顔を検出しても複数の人を画面の中におさめるようなオートズームはしません。
- 連続撮影中は、オートズームしません。



- 検出された人が画面の端に動いて画面から消えそうになると、自動でズーム倍率が下がってフレームアウトすることを防ぎます。
- セルフタイマー（**📖**33）でシャッターボタンを全押ししたあとは、ズーム倍率は変わりません。
- 被写体の動きや撮影状況によっては、被写体が画面におさまることを優先するため、顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 顔が検出できないときは、所定のズーム位置までズームしたあと、顔が検出されるまでズームを停止します。

■ 画面に対して保たれる顔の大きさを変える



- 「**□**オート：入」の状態では、**◀**/**▶**ボタンを押して、目的の項目を選びます。
- 設定した顔の大きさになるよう自動でズームします。

オート	被写体となる人の動きに応じて、画面の中におさまるよう、自動でズームします。 複数の顔が検出されているときは、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
顔	表情がわかるような顔の大きさに保ちます。
上半身	上半身が入るような顔の大きさに保ちます。
全身	全身が入るような顔の大きさに保ちます。
マニュアル	設定した顔の大きさに保ちます。ズームレバーを操作して画面に対する顔の大きさを決め、ズームレバーを放すと設定されます。



- 画面に対して保たれる顔の大きさは、「**📷**」メニュー（**📖**23）の「**□**オートズーム」で変えることもできます。
- 「**顔**」、「**上半身**」、「**全身**」に設定しているときは、ズームレバーを操作してズーム倍率を変えることはできますが、ズームレバーから指を放すと数秒でもとの倍率に戻ります。
- 顔の大きさを選んだ状態で動画撮影中に「**□**」ボタンを押すと、設定を解除することができます。
- 動画撮影中は顔の大きさを変えることはできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

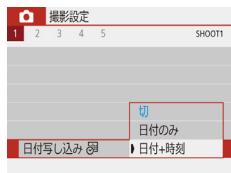
索引



日付を写し込む

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。
なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください(116)。



1 設定する

- [📷] メニュー (113) の [日付写し込み] で、[日付 + 時刻] または [日付のみ] を選びます。

2 撮影する

- 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が写し込まれます。



- 写し込まれた日付を消したり、修正することはできません。



- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
 - プリンターの機能を使って印刷する (113)
 - 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する (113)

セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。
また、2 秒に設定すると、シャッターボタンを押すときのカメラの手ブレを防ぐことができます。



1 設定する

- クイック設定画面 (113) で [📷] を選んだあと、[10] を選びます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。



- セルフタイマーを設定しても、動画ボタンを押して動画を撮影したときは、セルフタイマーは動作しません。



- セルフタイマーを設定したときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

AUTOモードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。



1 設定する

- クイック設定画面 (23) で [OFF] を選んだあと、[H] または [C] を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置、露出、色あいで固定されます。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。



- ▲モードでは設定できません。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- クイック設定画面 (23) で [4:3] を選んだあと、目的の内容を選びます。

3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
1:1	正方形です。



- ▲モードでは設定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数（大きさ）と画質（圧縮率）を、5 種類の組み合わせから選べます。



- クイック設定画面 (書 23) で [] を選び、目的の内容を選びます。

用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

	A2 相当
	A3 ~ A5 相当
	電子メールで画像を送るときなど



- モードでは設定できません。
- [] [] は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、[] の方が高画質です。[] では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。

撮影の手助けとなる機能を使う

グリッドを表示する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線（グリッド）を画面上に表示することができます。



- [] メニュー (書 23) の [グリッド] で、目的の内容を選びます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



自動水平補正を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に動画を水平に保つ補正をします。この機能を使わないときは、[しない] を選びます。



- [カメラ] メニュー (📖 23) の [自動水平補正] で、[しない] を選びます。



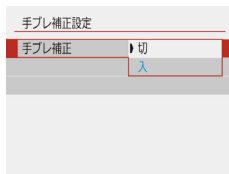
- 撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります (📖 37)。

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

手ブレ補正を使わないようにする

カメラを三脚などで固定して撮影するときは、手ブレ補正機能が動作しないよう [切] にすることをおすすめします。



- [カメラ] メニュー (📖 23) の [手ブレ補正設定] で [手ブレ補正] を選び、[切] を選びます。

切	手ブレ補正を切ります。
入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーン IS) されます (📖 30)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

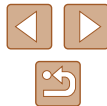
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

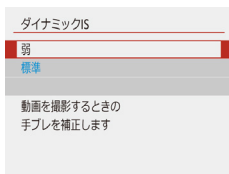


撮影前の画面と同じ大きさに動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレを補正したり、なるべく水平に保たれるように補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

手ブレ補正の効果を弱めることと、水平に保つ補正をしないことで、撮影前の画面と同じ大きさに動画を撮影することができます。



- [カメラ] メニュー (📖 23) の [🔍 自動水平補正] で、[しない] を選びます。
- [手ブレ補正設定] で [ダイナミック IS] を選び、[弱] を選びます。



- [手ブレ補正] が [切] のときも、撮影前の画面と同じ大きさに動画を撮影することができます。
- [手ブレ補正] を [切] にしているとき (📖 36) は [ダイナミック IS] は選べません。

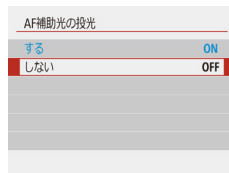
自分好みに機能を変える

[カメラ] メニュー (📖 23) で、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

AF 補助光 (ランプ) が光らないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ (前面) が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [AF 補助光の投光] で、[しない] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

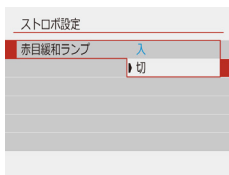
索引



赤目緩和機能を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [ストロボ設定] の [赤目緩和ランプ] で、[切] を選びます。

撮影直後の画像表示時間を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- [撮影画像の確認時間] で、目的の内容を選びます。

切	画像は表示されません。
2 秒、4 秒、 8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

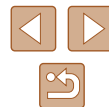
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

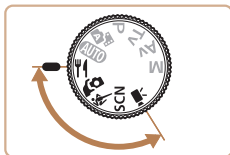
付録

索引



いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



料理を明るく鮮やかに撮る（料理）

▶ 静止画 ▶ 動画

料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。



1 料理モードにする



2 色あいを変える

- クイック設定画面（[図23](#)）で [色あい] を選び、設定します。

3 撮影する



- 人は適切な色あいにならないことがあります。
- ストロボ撮影時は、色あいの設定が標準設定に切り換わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



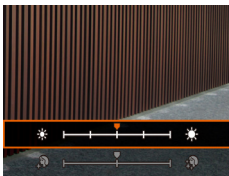
自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮り）

▶ 静止画 ▶ 動画

自分撮りをするときに、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果をかけるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。

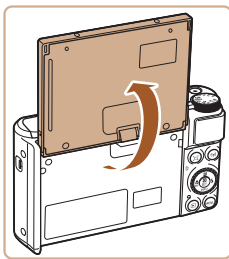


1 カメラモードにする



2 設定する

- ▼ボタンを押して設定画面を開き、明るさと美肌効果を設定します。
- Ⓜボタンを押して設定画面を閉じたあと、◀ボタンを押して背景ぼかしの設定を切ることができます。



3 モニターを開く

- 図のようにモニターを開きます。



4 撮影する

- 背景ぼかしが[オート]のとき、シャッターボタンを全押しすると、2枚連続して撮影されたあと、画像処理されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。

美肌効果	美肌の効果を3段階から選ぶことができます。なお、美肌の効果は主被写体と判断された人の顔が最適になるようにかかります。
明るさ	明るさを5段階から選ぶことができます。
背景ぼかし	背景をぼかすことができます。



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思い通りの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをするをお勧めします。



- ストロボモードを[⚡]にしているときは、背景ぼかしは[切]に固定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動きのある被写体を撮る（スポーツ）

▶ 静止画 ▶ 動画

動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます。



1 シャッターモードにする



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- シャッターモードでは、撮影シーンによってはISO感度（P.53）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなることがあります。
- オートモードのとき（P.31）は、連続撮影されません。

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 SCNモードにする



2 撮影モードを選ぶ

- クイック設定画面（P.23）で「SCN」を選び、撮影モードを選びます。

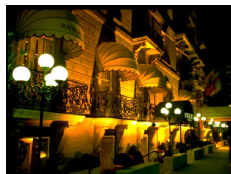
3 撮影する



人々を撮る（ポートレート）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を1枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





🎆 花火を撮る（打ち上げ花火）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 打ち上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



- [📷] モードでは、撮影シーンによってはISO感度（📖53）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [📷] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [📷] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [🎆] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正]を[切]にして撮影することをおすすめします（📖36）。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[📷] モードではなく、**AUTO**モードで撮影することをおすすめします（📖26）。
- [🎆] モードでは、最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。

効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 SCNモードにする



2 撮影モードを選ぶ

- クイック設定画面（📖23）で [📷] を選び、撮影モードを選びます。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



美肌の効果をかけて撮る（美肌）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像処理によって肌がなめらかに見えるような効果をかけることができます。

1 [美肌] を選ぶ

2 効果を選ぶ

- [美肌効果] を選び、設定します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。

単色で撮る（ラフモノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画

ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

1 [単色] を選ぶ

2 効果を選ぶ

- [フィルター効果の強さ] を選び、設定します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

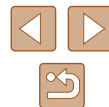
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



優しい雰囲気で撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [👤] を選ぶ

2 効果を選ぶ

- [フィルター効果の強さ] を選び、設定します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

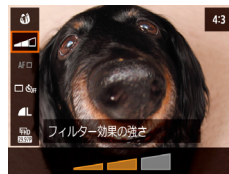
▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [👤] を選ぶ

2 効果を選ぶ

- [フィルター効果の強さ] を選び、設定します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

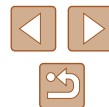
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



油絵のような画像にする（油彩風）

▶ 静止画 ▶ 動画

被写体の立体感を強調して油絵のように撮影できます。

1 【】を選ぶ

2 効果を選ぶ

- [フィルター効果の強さ] を選び、設定します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する

水彩画のような画像にする（水彩風）

▶ 静止画 ▶ 動画

水彩画のようなやわらかい感じの色の画像を撮影できます。

1 【】を選ぶ

2 効果を選ぶ

- [フィルター効果の強さ] を選び、設定します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

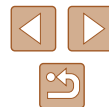
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

2 色調を選ぶ

- [フィルター効果の種類] を選び、設定します。
- 設定した色調で画面が表示されます。



3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

1 [📷] を選ぶ

- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。

2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- ▼ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンを押して枠の位置を変えます。
- Ⓜボタンを押して、▲/▼/◀/▶ボタンで AF フレームの位置を変えます。



3 撮影画面に戻り、撮影する

- Ⓜボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。



- 手順2の画面で◀/▶ボタンを押すと枠の縦横が変わり、枠を縦にしたときは◀/▶ボタンを押すと枠の位置を変えられます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

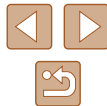
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



いろいろな動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 1モードにする

- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。

2 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。

動画の記録サイズを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の記録サイズとフレームレートを設定できます。フレームレートとは1秒間に何コマ記録するかのこと、ビデオ方式の設定にあわせて選択できる項目が変わります。



- クイック設定画面(23)で[FHD 29.97P]を選んだあと、目的の内容を選びます。



- 4K 動画では、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- 4K 動画を長時間撮影すると、カメラ内部の温度が一時的に高くなり、[!]が表示され撮影が中断されます。そのときは、動画ボタンを押しても撮影できません。メッセージにしたがって [4K 29.97P] [4K 25.00P] 以外の動画記録サイズに設定するか、電源を切ってカメラ内部の温度が下がってから撮影してください。

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で補正できます。



- ▲ボタンを押したあと、画面の表示を見ながらホイールを回して明るさを補正し、もう一度▲ボタンを押します。



- 「明るさ（露出）を固定する（AE ロック）」(52) の操作で明るさを固定することもできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



オートスローシャッターを使わない

▶ 静止画 ▶ 動画

【FHD59.94P】【HD59.94P】【FHD50.00P】【HD50.00P】で、ごちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなることがあります。

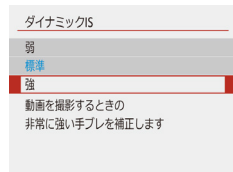


- [カメラ] メニュー (23) の [オートスローシャッター] で、[しない] を選びます。

非常に強い手ブレを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

動きながら動画を撮影するときなどの非常に強い手ブレを補正します。[標準] よりも画面に表示される範囲が変わり、さらに被写体が大きくなります。



- [カメラ] メニュー (23) の [手ブレ補正設定] で [ダイナミック IS] を選び、[強] を選びます。



- [手ブレ補正] を [切] にしているとき (36) は [ダイナミック IS] は選べません。

音声を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

■ ウィンドカットを使わない

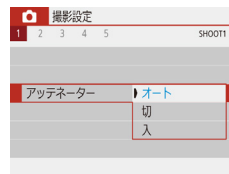
風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このとき、ウィンドカットを使わないようにできます。



- [カメラ] メニュー (23) の [ウィンドカット] で、[切] を選びます。

■ アッテネーターを使う

大音響の環境で、音割れを軽減できます。ただし、静かな環境で録音したときは、音が小さくなります。



- [カメラ] メニュー (23) の [アッテネーター] で、目的の内容を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

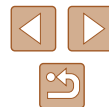
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



タイムラプス動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。

1 [タイムラプス動画設定] 画面を表示する

- [📷] メニュー (📖 23) の [タイムラプス動画] を選びます。



2 設定する

- [タイムラプス撮影] でシーンを選びます。
- 項目を選んで、目的の内容を選びます。
- [モニター自動消灯] で [しない] を選ぶと、撮影開始から約30分後に画面が消えます。[する] を選ぶと、1フレーム目の撮影後、約10秒経過すると、画面が消えます。撮影中に▼ボタンで画面を消灯/点灯することもできます。
- 項目を設定すると、[🕒] 撮影所要時間と [▶] 動画再生時間が表示されます。

3 撮影画面に戻る

- MENUボタンを押して撮影画面に戻ります。シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
- 動画ボタンを押します。



- 撮影中はカメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。
- 動きの速い被写体を撮影すると、被写体がゆがんで写ることがあります。
- 撮影中、音声は録音されません。

ミニチュア模型のような動画を撮る (ジオラマ風動画)

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて動画を撮影できます。



1 設定する

- クイック設定画面 (📖 23) で [🔍 Off] を選んだあと、内容を選びます。

2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- ▼ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンを押して枠の位置を変えます。
- Ⓜ️ ボタンを押して、▲/▼/◀/▶ボタンで AF フレームの位置を変えます。

3 撮影画面に戻り、撮影する

- Ⓜ️ ボタンを押して撮影画面に戻ります。シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
- 動画ボタンを押します。

再生時間の目安 (動画を1分間撮影したとき)

倍速	再生時間
5x	約12秒
10x	約6秒
20x	約3秒

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 音声は録音されません。
- 動画の記録サイズは、[FHD29.97P] または [FHD25.00P] に設定してください。

ビデオスナップを撮影する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 スナップが数秒間（約 4/6/8 秒）の短い動画「ビデオスナップ」を繰り返し撮影して、旅行やイベントなどの思い出を、1 つの動画に簡潔にテンポ良くまとめた「ビデオスナップアルバム」（以下アルバム）を作ることができます。

ビデオスナップ	
ビデオスナップ	撮影する
アルバムの設定	新規に作成
再生時間	4秒
再生時の効果	1倍速
保存確認画面の表示	する
撮影所要時間	4 秒

[MENU]

1 ビデオスナップを選ぶ

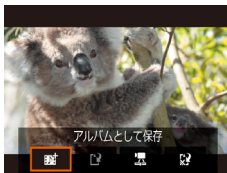
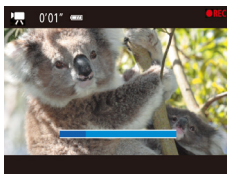
- [📷] メニュー（📖23）の [ビデオスナップ] を選んだあと、[撮影する] を選びます。

2 設定する

- 設定する項目を選び、目的の内容を選びます。

再生時間	ビデオスナップの再生にかかる時間を選びます。
再生時の効果	ビデオスナップの再生時にかける効果を選びます。
保存確認画面の表示	撮影後の動作を確認する画面を表示するかしないかを選びます。

- 再生時間と再生時の効果から決まる、実際の撮影にかかる時間（撮影所要時間）が表示されます。
- 2 回目の撮影からは、[アルバムの設定] で、ビデオスナップを保存するアルバムを選びます。



3 撮影する

- MENUボタンを押して撮影画面に戻り、動画ボタンを押します。
- 撮影時間に連動したバーが表示され、自動的に撮影が終わります。

4 アルバムに保存する

- 手順 2 の [保存確認画面の表示] で [しない] を設定しているときは、この画面は表示されず、ビデオスナップは自動的に手順 2 の [アルバムの設定] で選んだアルバムに保存されます。
- 必要に応じて手順 3 ～ 4 の操作を繰り返します。

5 ビデオスナップ撮影を終了する

- クイック設定画面（📖23）で [🔍] を選びます。



- アルバムの記録時間が 5 分を超えるときは、新規アルバムに保存されます。
- 1 スナップの再生時間は目安です。
- 動画の記録サイズは、[FHD29.97P] または [FHD25.00P] に設定してください。
- 撮影を途中停止した動画は、通常の動画として保存されます。
- [再生時の効果] で、[2 倍速] と [1/2 倍速] を選んだときは、音声は録音されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが**P**モードになっていることを前提に説明しています。**P**モード以外のモードでも使える機能もあります。
- **P**は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。

プログラム AE で撮る（Pモード）

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 Pモードにする

2 目的に応じて各機能を設定（ 52 ~ 63）し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに標準露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値が白字で点滅して表示されます。ISO感度を変えたり（ 53）、被写体が暗いときにストロボを発光させる（ 61）と、標準露出が得られることがあります。
- **P**モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、クイック設定（ 23）やMENU（ 23）の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- シャッターボタンを半押ししたあと、 ホイールを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

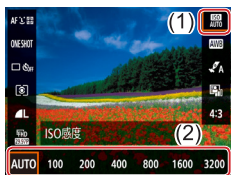
索引



ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- クイック設定画面 (23) で [ISO] を選び、目的の内容を選びます。



- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

明るさ・コントラストを自動補正する（オートライティングオプティマイザ）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときまたは高いときに、明るさやコントラストを自動的に補正できます。



- クイック設定画面 (23) で [ALO] を選び、目的の内容を選びます。



- 撮影条件によっては、ノイズが増えることがあります。
- オートライティングオプティマイザの効果により、画像が明るすぎるときは、[ALO] または [ALO] に設定して撮影してください。
- [OFF] 以外の設定では、露出補正やストロボ調光補正で暗めに設定しても、明るく撮影されたり、露出補正の効果が小さくなることがあります。設定したとおりの明るさで撮影したいときは、[OFF] に設定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



色に関する機能を使う

自然な色あいにする（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- クイック設定画面（[図23](#)）で「WB」を選び、目的の内容を選びます。

	オート	撮影シーンに応じて自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	日陰	日陰
	くもり	曇り空、薄暮
	白熱電球	電球
	白色蛍光灯	白色蛍光灯
	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。

1 白い被写体を撮影する

- 画面全体に、紙などの白い無地の被写体が入るようにして、撮影します。

2 を選ぶ

- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（[図54](#)）の操作で「」を選びます。



3 [MWB 画像選択] を選ぶ

- 「」メニュー（[図23](#)）の「MWB 画像選択」を選びます。

4 白データを取り込む

- 手順 1 で撮影した画像を選び、を押します。
- MENUボタンを押して撮影画面に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 撮影した白い被写体の画像が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できないことがあります。
- 白データを取り込む画面で白データの取り込みに適さない画像を指定したときは、メッセージが表示されます。画像を選びなおすときは【キャンセル】を選んでください。【OK】を選ぶとその画像で白データが取り込まれますが、適切なホワイトバランスにならないことがあります。



- 白い被写体の代わりに、市販のグレーチャートや18%標準反射板を撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。
- 白い被写体を撮影するときのホワイトバランスはどの設定でもかまいません。

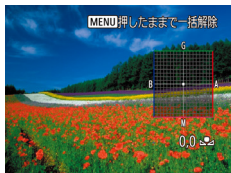
■ ホワイトバランスを補正する

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



1 設定する

- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（P54）の操作で、目的のホワイトバランスを選びます。



2 詳細な設定をする

- MENUボタンを押して詳細設定画面を開き、▲/▼/◀/▶ボタンを押して補正量を調整します。
- Ⓜボタンを押すと設定されます。



- 補正量を設定したあとに手順1でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されます。



- Bはブルー、Aはアンバー、Mはマゼンタ、Gはグリーンの意味です。
- ブルー／アンバー方向の1段は、色温度変換フィルターの約5ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。

好みの色あいを選ぶ（スタイル設定）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンや被写体にあわせて、好みの色あいを選べます。



- クイック設定画面（P23）で[✓A]を選び、目的の内容を選びます。



- [✓S]のときは、MENUボタンを押して、コントラストや色の濃さなどを調整できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

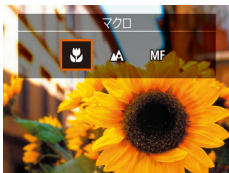


撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

[🌻] に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。



- ◀ ボタンを押したあと、[🌻] を選びます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、[🌻] が灰色表示になりピントが合いません。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[📷2] で撮影することをおすすめします (📖33)。

マニュアルフォーカスで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。



1 [MF] を選ぶ

- ◀ ボタンを押したあと、[MF] を選びます。
- [MF] と MF インジケーターが表示されます。



(1)

2 おおよそのピントを合わせる

- MFインジケーター (1) の距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、▲/▼ ボタンを押すか 🔄 ホイールを回しておおよそのピントを合わせ、📷 ボタンを押します。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます (セイフティ MF)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

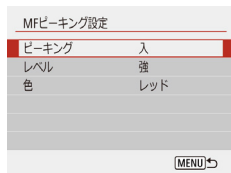




- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- [] メニュー (23) の [セーフティ MF] で [切] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります。
- [] メニュー (23) の [MF ピーキング設定] の [ピーキング] で [入] を選ぶと、ピントを合わせやすくなります。

■ ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすことができます。また、輪郭の検出感度 (レベル) や色を変えることもできます。



1 設定画面を表示する

- [] メニュー (23) の [MF ピーキング設定] を選び、[入] を選びます。

2 設定する

- 設定する項目を選び、目的の内容を選びます。

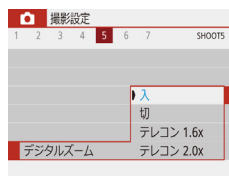


- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

デジタルテレコンバーターを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの焦点距離を 1.6 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作 (デジタルズーム含む) で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- [] メニュー (23) の [デジタルズーム] を選んだあと、目的の内容を選びます。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- ズームレバーを [] 側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する (デジタルズーム)」の手順 2 (30) の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

AF 方式を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンや被写体にあわせて、AF (自動ピント合わせ) の方法を変えることができます。



- クイック設定画面 (23) で [AF 方式] を選び、目的の内容を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。

👤 + 追尾優先 AF

▶ 静止画 ▶ 動画

- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- 顔が検出されないときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。



- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。

■ ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 [キャッチ AF] を選ぶ

- 「AF 方式を選ぶ」（📖57）の操作で [キャッチ AF] を選びます。
- 画面中央に [☑] が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に [☑] が重なるようにカメラを動かします。
- シャッターボタンを半押しすると、[☑] が青色の [□] に変わり、被写体を追い続けながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）（📖59）。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押しして撮影します。



- [AF 動作]（📖59）は [サーボ AF] に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- [👤] は設定できません。



- [MF] に設定するとき（📖56）は、◀ ボタンを 1 秒以上押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



中央

▶ 静止画 ▶ 動画

AF フレームが中央 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。



- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。

サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



1 設定する

- クイック設定画面 (書 23) で [ONE SHOT] を選び、[SERVO] を選びます。



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- サーボ AF に設定すると、測光方式 (書 52) の設定に関わらず、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- 被写体との距離や被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [📷] メニュー (📖23) の [コンティニュアス AF] を選び、[しない] を選びます。

する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。ただし、ピント合わせに時間がかかることがあります。

AF ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。

1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、◀ ボタンを押します。
- ピントが固定され、[MF] と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度◀ ボタンを押したあと、[A] または [📷] を選ぶと解除されます。

2 構図を決めて撮影する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。



- ▶ ボタンを押したあと、ストロボモードを選びます。

ストロボ自動発光

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

ストロボ発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [📷] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖36)。
- [📷] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

ストロボ発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正 (23) と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- [] メニュー (23) の [ストロボ設定] で [調光補正] を選んで設定します。
- 設定した補正量が表示されます。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、[] メニュー (23) の [ストロボ設定] で [セーフティ FE] を [切] に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。

FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボの発光量を記憶できます。



1 ストロボを上げて、[] または [] にする (61)

2 ストロボ発光量を記憶する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、▲ ボタンを押します。
- ストロボが発光し、調光範囲を示す円と [] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。

3 構図を決めて撮影する



- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

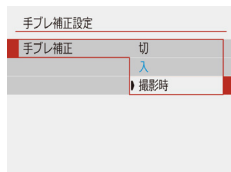


撮影スタイルにあわせて機能を変える

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影される瞬間のみ手ブレを補正するように設定できます。



- [📷] メニュー (📖 23) の [手ブレ補正設定] で [手ブレ補正] を選び、[撮影時] を選びます。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。
- 動画を撮影するときは、[入] の設定に変わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

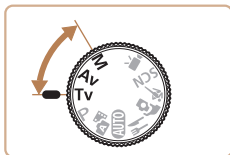
付録

索引



Tv、Av、M モード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る (Tv モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。

1 Tvモードにする

2 シャッタースピードを設定する

- ホイールを回してシャッタースピードを設定します。



- シャッタースピードが遅いときなど撮影条件によっては、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (P.36)。
- ストロボ発光時のシャッタースピードの上限は 1/2000 秒です。1/2000 秒より速いシャッタースピードに設定しても、1/2000 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [100] に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値が白字で点滅して表示されるときは、標準露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます。



- **Tv**は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



絞り数値を決めて撮る (Av モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。

1 Avモードにする



2 絞り数値を設定する

- ホイールを回して絞り数値を設定します。



- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードが白字で点滅して表示されるときは、標準露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます。



- **Av**は、Aperture value (アパーチャーバリュー) の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- **Tv / Av**モードのとき、[MENU] (23) の [セーフティシフト] を [する] にすると、標準露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、標準露出で撮影できます。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (M モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

1 Mモードにする

2 ISO 感度を設定する (53)

3 設定する



(1) (2)

- ▲ボタンを押して、シャッタースピード (1) または絞り数値 (2) を選び、ホイールを回して設定します。



- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [100] に固定されます。
- **M**モードでは、オートモードは使用できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- **M**は、Manual（マニュアル）の略です。
- 標準露出は設定している測光方式（[52](#)）で算出されます。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッターボタンを半押しすると、設定した値に連動して露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- シャッタースピードと絞り数値を設定したあとにズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [⚡] にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、設定したシャッタースピードと絞り数値に対して標準露出になるように ISO 感度が変わるため、思い通りの露出で撮影できないことがあります。
- オートライティング最適化によって、画像の明るさが変わることがあります。オートライティング最適化の設定画面で [マニュアル露出時は OFF] に [✓] をつけると、**M**モードではオートライティング最適化が [しない] 固定になります。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、露出補正バーを選んで、露出を補正できます。

ストロボ発光量を設定する

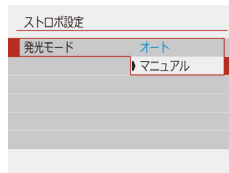
▶ 静止画 ▶ 動画

Tv / Av / Mモードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 Tv / Av / Mモードにする

2 設定する

- [📷] メニュー（[23](#)）の [ストロボ設定] の [発光モード] で [マニュアル] を選び、[発光量] を設定します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



再生

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- ▶ ボタンを押して、再生表示にしてから操作してください。

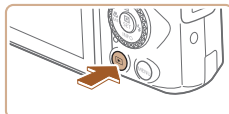


- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を画面で見ることができます。



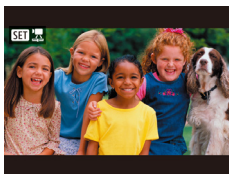
1 再生表示にする

- ▶ ボタンを押します。



2 画像を選ぶ

- ◀ ボタンを押すか ● ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、▶ ボタンを押すか ● ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- ◀ / ▶ ボタンを押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- 動画では、[SET] が表示されます。● ボタンを押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 動画を再生する

- [▶] を選んで、[SET] ボタンを押します。
- 音量は、再生中に▲ / ▼ボタンを押して調節します。
- [SET] ボタンを押すたびに、一時停止 / 再開できます。
- 再生が終わると [SET] [📷] が表示されます。



- 再生表示の状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- 再生表示にしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、[▶] メニュー (📖23) の [前回の画像から再生] を [しない] にすると、電源を入れて再生を開始したときに最新の撮影画像を表示します。

表示を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面表示は、▼ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」(📖120) を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示
	詳細情報表示 2

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

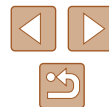
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



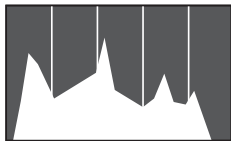
■ 高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

「詳細情報表示」(68) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

■ ヒストグラム

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「詳細情報表示」(68) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさことの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

■ GPS 情報表示

▶ 静止画 ▶ 動画



- 撮影する静止画や動画に、Bluetooth に対応しているスマートフォンの GPS 情報（緯度 / 経度 / 標高など）を記録することができます (87)。「GPS 情報表示」は、この記録した情報を確認できます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- GPS 情報が記録されていない画像では、「GPS 情報表示」は表示できません。
- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「--」が表示されます。



- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

■ 画像の送信履歴

表示されている画像が、スマートフォンやパソコンに送信されていると、送信先がアイコンで表示されます。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

モード (28) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [SET] が表示された静止画を選びます。



2 ダイジェスト動画を再生する

- クイック設定画面 (23) で [] を選びます。
- 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。



- 情報表示なし (68) にしているときは、一定時間で [SET] が消えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

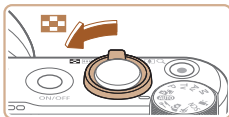


画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

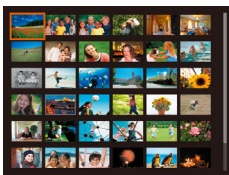
▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームレバーを $\square$ 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーをQ側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- ホイールを回したり、 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンを押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- $\odot$ ボタンを押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像をまとめてプロテクトをかけたり、消すこともできます。

★ レーティング	レーティング設定した画像を表示
☺ 日付	指定した撮影日の画像を表示
📁 フォルダ	指定したフォルダ内の画像を表示
🔒 プロテクト	カード内のプロテクト「あり」「なし」画像を表示
📁 ファイルの種類	[📷静止画]、[🎥動画]、[📷+🎥モードで作成された動画]のいずれかを表示

1 検索条件を選ぶ

- クイック設定画面（ p.23 ）で [🔍] を選びます。
- $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ ボタンで項目を選び、 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで内容を選びます。
- 選び終えたら、MENU ボタンを押します。

2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンを押すか $\odot$ ホイールを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で [🔍] を選んだあと、 p.23 ボタンを押します。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



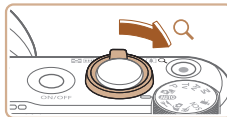


- 検索をすべて解除するときは、設定画面で ボタンを押します。
- 検索した画像の表示中は黄色の枠が表示され、 ボタンを押すと検索した画像だけをまとめて操作（プロテクト、レーティングなど）することもできます。
- 画像を編集して新規保存などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。
- メニューの「画像検索の条件設定」でも同じように操作できます。

いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)

1 拡大する

- ズームレバーをQ側に押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約10倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安(1)が表示されます。
- ズームレバーを 側に押すと縮小表示になり、押したままにすると1枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- / / / ボタンを押すと、表示位置が移動します。
- ホイールを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



- [] メニュー (23) の [スライドショー] を選びます。
- [スタート] を選ぶとスライドショーが始まります。
- [設定] を選ぶと、再生画像 1 枚あたりの表示時間、スライドショーの繰り返し、切り換わるときの効果を変えられます。
- MENUボタンを押すとスライドショーが終わります。



- スライドショー中に節電機能 (101) は働きません。



- 再生中に [] ボタンを押すと一時停止 / 再開ができます。
- 再生中に [] / [] ボタンを押すか [] ホイールを回すと画像を切り換えられ、[] / [] ボタンを押したままにすると早送りできます。
- 検索 (70) しているときは、対象の画像のみが再生されます。

保護する

▶ 静止画 ▶ 動画

大切な画像をカメラの消去機能 (74) で誤って消さないよう、保護することができます。



- クイック設定画面 (23) で [] を選び、[] を選びます。
- 保護されると [] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作で [しない] を選びます。



- カードを初期化 (102) すると、保護された画像も消えます。

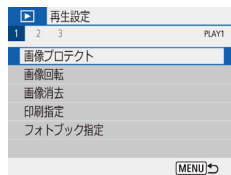


- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

まとめて保護する

画像を選んでまとめて保護することができます。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [] メニュー (23) の [画像プロテクト] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





1 枚ずつ指定する



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます。

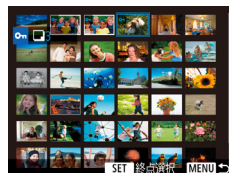
1 [画像を選択] を選ぶ

- [] メニュー (23) の [画像プロテクト] を選び、[画像を選択] を選びます。

2 画像を選び指定する

- 画像を選び、 ボタンを押すと [] が表示されます。
- もう一度 ボタンを押すと [] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

範囲で指定する



1 [範囲指定] を選ぶ

- [] メニュー (23) の [画像プロテクト] を選び、[範囲指定] を選びます。

2 始点の画像を指定する

- 画像を選び、 ボタンを押します。

3 終点の画像を指定する

- 画像を選び、 ボタンを押します。
- 指定した範囲の画像が保護されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

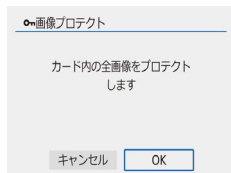
索引



すべての画像を指定する

1 [フォルダ内・全画像] または [カード内・全画像] を選ぶ

- [] メニュー (23) の [画像プロテクト] を選びます。
- フォルダ内の全画像を保護したいときは [フォルダ内・全画像] を、カード内の全画像を保護したいときは [カード内・全画像] を選びます。



2 保護する

- [フォルダ内・全画像] を選んだときは、フォルダを選び、保護します。



- [フォルダ内・全解除] または [カード内・全解除] を選ぶと、すべての画像の保護を解除することができます。

消す

▶ 静止画 ▶ 動画

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像 (72) は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

2 消す

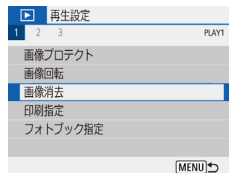
- 冚ボタンを押します。
- [消去] を選ぶと、表示していた画像が消えます。



まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像 (72) は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [] メニュー (23) の [画像消去] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

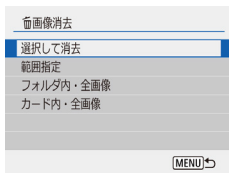
設定メニュー

アクセサリ

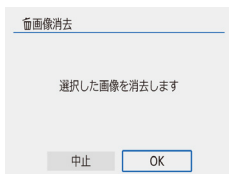
付録

索引





1 枚ずつ指定する



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます。

1 「選択して消去」を選ぶ

- 「[▶] メニュー (23) の「画像消去」を選び、「選択して消去」を選びます。

2 画像を選ぶ

- 画像を選び、[OK] ボタンを押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [OK] ボタンを押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す

- MENU ボタンを押して [OK] を選びます。

範囲で指定する

1 「範囲指定」を選ぶ

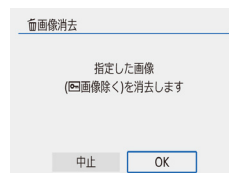
- 「[▶] メニュー (23) の「画像消去」を選び、「範囲指定」を選びます。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2～3 (73) の操作で指定します。

3 消す

- MENU ボタンを押して [OK] を選びます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

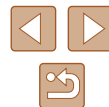
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

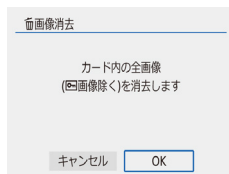
索引



すべての画像を指定する

1 【フォルダ内・全画像】または【カード内・全画像】を選ぶ

- [📁] メニュー (📖 23) の [画像消去] を選びます。
- フォルダ内の全画像を削除したいときは [フォルダ内・全画像] を、カード内の全画像を削除したいときは [カード内・全画像] を選びます。



2 消す

- [フォルダ内・全画像] を選んだときは、フォルダを選び、消去します。

回転する

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



- クイック設定画面 (📖 23) で [📷] を選び、回転方向を選びます。
- [📷] を選ぶと左に 90 度、[📷] を選ぶと右に 90 度回転します。



- [📷] メニュー (📖 23) の [縦位置画像回転表示] で [しない] を選ぶと回転しません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

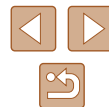
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お気に入り設定をする（レーティング）

▶ 静止画 ▶ 動画

5段階でお気に入りのレベル（レーティング）を設定して、撮影した画像を分類できます。特定のレベルの画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」（[76](#)）、「スライドショーで見る」（[72](#)）、「保護する」（[72](#)）、「消す」（[74](#)）、「印刷指定（DPOF）」（[113](#)）、「フォトブック指定」（[115](#)）



- クイック設定画面（[23](#)）で【★】を選んだあと、レベルを選びます。
- レーティングを解除するときは、上記の操作で【OFF】を選びます。

静止画を編集する



- 静止画の編集機能（[77](#)～[79](#)）は、カードに空き容量がないと使えません。

画像を小さくする（リサイズ）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



- クイック設定画面（[23](#)）で【】を選び、大きさを選びます。



- 記録画素数（[35](#)）が【S】の画像は、編集できません。



- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画像を切り抜く（トリミング）

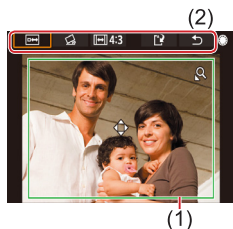
▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 【トリミング】を選ぶ

- クイック設定画面 (23) で [] を選びます。



2 切り抜く範囲を調整する

- 画像を切り抜く範囲 (1) が枠で表示されます。
- ズームレバーを動かすと枠の大きさが変わります。
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押すと枠の位置が移動できます。
- 画面上部の項目 (2) は、ホイールを回して移動できます。
- [] を選ぶと、画像の傾きを補正できます。
- [] を選ぶと、アスペクト比を変更できます。

3 編集した画像を確認する

- [] を選ぶと、トリミング後のイメージが表示されます。
- 編集を中止するときは、[] を選びます。



4 新規保存する

- [] を選びます。
- 別画像として保存されます。



- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

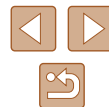
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

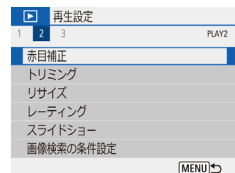
索引



赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [] メニュー (23) の [赤目補正] を選びます。

2 画像を選ぶ

3 補正する

- ⑤ ボタンを押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(71) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存する

- 別画像として保存されます。



- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。

動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の前後を削除する

撮影した動画の前後を削除できます(ダイジェスト動画(28)、ビデオスナップ(50)を除く)。

1 動画を選ぶ

2 再生する

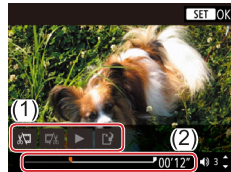
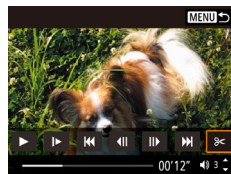
- クイック設定画面(23)で[]を選びます。

3 [] を選ぶ

- 動画再生中に⑤ボタンを押して動画操作パネルを表示し、[]を選びます。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

4 編集範囲を指定する

- (1)は動画編集パネル、(2)は動画編集バーです。
- []または[]を選びます。
- ◀/▶ボタンを押すか●ホイールを回して[]を動かすと、編集できるところで[]が表示されます。編集するところで、⑤ボタンを押します。
- []を[]以外の位置に指定しても、[]では1つ左側の[]位置よりも前部、[]では1つ右側の[]位置よりも後部が削除されます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

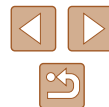
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



5 編集した動画を確認する

- [▶] を選ぶと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順 4 の操作を行います。
- 編集を中止するときは、MENU ボタンを押します。



6 編集した動画を保存する

- [L] を選び、[新規保存] を選びます。

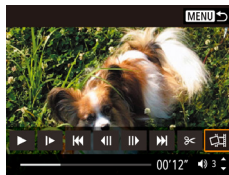


- [圧縮せず保存] を選びます。
- 別動画として保存されます。



- 手順 6 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

4K 動画のフレームを静止画として切り出す



- 「動画の前後を削除する」の手順 3 (P.79) の動画操作パネルで、[静止画] を選ぶと、任意のフレームを静止画として保存することができます。

ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画の前後を削除する」(P.79) の手順 4 の画面で [L] を選んだあと [新規保存] を選びます。
- [圧縮して保存] を選びます。

圧縮前	圧縮後
4K 29.97P、FHD 59.94P、FHD 29.97P	FHD 29.97P
4K 25.00P、FHD 50.00P、FHD 25.00P	FHD 25.00P
FHD 59.94P	FHD 29.97P
FHD 50.00P	FHD 25.00P



- 編集した動画を保存するときに [上書き保存] を選ぶと、圧縮できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ダイジェスト動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

モードで作成されたチャプター (28) を 1 つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



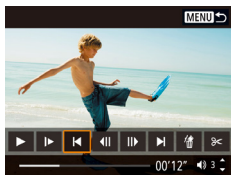
1 画像を選ぶ

- [SET] が表示された静止画を選びます。



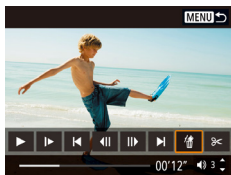
2 ダイジェスト動画を再生する

- クイック設定画面 (23) で [] を選びます。
- 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。

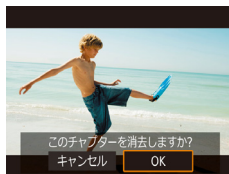


3 チャプターを選ぶ

- [] ボタンを押して動画操作パネルを表示します。
- [] か [] を選び、[] ボタンを押してチャプターを選びます。



4 [] を選ぶ



5 確認して消す

- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- ビデオスナップの撮影時に作成されたアルバムも編集することができます。[] メニューの [アルバム編集] で作成されたアルバムは編集できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

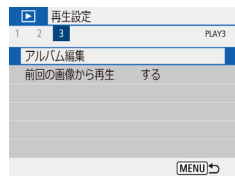
索引



ビデオスナップを結合して動画作品を作る

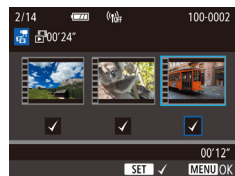
▶ 静止画 ▶ 動画

複数のビデオスナップを結合して、新しい動画作品（アルバム）を作ることができます。



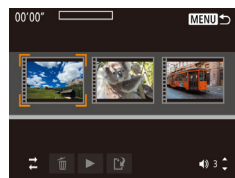
1 編集画面を表示する

- [▶] メニュー (23) の [アルバム編集] を選びます。



2 動画を指定する

- 動画（既存のアルバム）を選び、[OK] ボタンを押します。
- 選び終わったら、MENUボタンを押し、動画の指定を完了します。



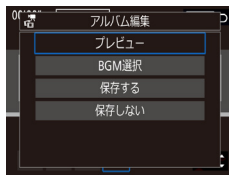
3 編集する

- 手順 2 で選んだ動画に保存されているビデオスナップが表示されます。
- 画面下段の編集メニューを選び、[OK] ボタンを押します。
- 画面上段で編集の対象のビデオスナップを選び、編集します。

[⇄] ビデオスナップ並べ換え	ビデオスナップの順序を入れ替えます。順序を移動させたいビデオスナップを選択し、[OK] ボタンを押します。◀ / ▶ ボタンで移動させることができます。
[✂] ビデオスナップ削除	新しいアルバムには入れないビデオスナップを選択します。[✂] アイコンが表示されたビデオスナップは新しいアルバムには入りませんが、元のアルバムからは削除されません。
[▶] ビデオスナップ再生	選択したビデオスナップを再生します。
[✔] 編集完了	アルバムの編集を完了します。

4 編集を完了する

- MENUボタンで編集メニューに戻り、[✔] を選んで編集を完了します。



5 保存する

- [保存する] を選びます。
- [BGM 選択] を選ぶと、BGM をつけることができます。
- [プレビュー] を選ぶと、新しく編集したアルバムがプレビュー再生されます。
- 保存が完了すると再生画面に移ります。

✎ アルバム編集で作成したアルバムは、編集できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



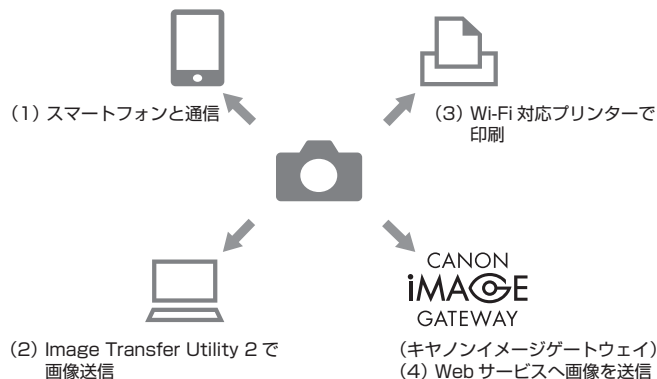
無線機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する



- 無線機能を使う前に「無線機能について」(P.127)を必ずお読みください。

無線機能でできること



- スマートフォンと通信 (P.85、P.88)**
スマートフォンやタブレットに Wi-Fi 接続して、専用アプリケーション Camera Connect (カメラコネクト) を使ってカメラをリモート操作したり、カメラ内の画像を見ることができます。
また、Bluetooth®* で接続したときは、位置情報の付加などを行うことができます。
なお、本ガイドでは、スマートフォンとタブレットをあわせて「スマートフォン」と記載しています。
* Bluetooth low energy technology (以降は「Bluetooth」と記載)
- Image Transfer Utility 2 で画像送信 (P.91)**
パソコンに Wi-Fi 接続し、Image Transfer Utility 2 を使って、パソコンに画像を送信することができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

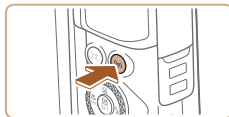


- (3)  Wi-Fi 対応プリンターで印刷 (📖93)
Wi-Fi で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターに Wi-Fi 接続して、画像を印刷することができます。
- (4)  Web サービスへ画像を送信 (📖94)
キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY (登録無料) を通じて、家族や友人との画像共有や、さまざまな Web サービスを利用した画像共有を行うことができます。

無線機能の準備をする

最初に、無線機能を使うための準備をします。

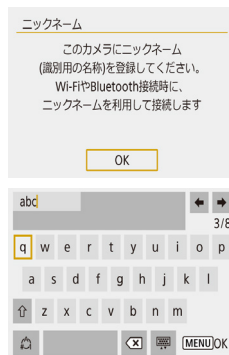
カメラの事前準備



1 ボタンを押す

-  ボタンを押して無線の設定画面が表示されないときは、もう一度  ボタンを押します。

2 [ニックネーム] を登録する



- 表示されてるニックネームを使用するときは、**MENU** ボタンを押します。
- 次の画面で [OK] を選ぶと、機能設定メニューに戻ります。
- ニックネームは 8 文字以内で、あとから変更できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





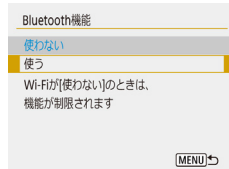
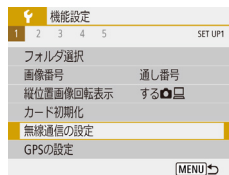
- Wi-Fi と Bluetooth の電波を出したくないときは、以下のよう
にしてください。
 - Wi-Fi: [📶] メニュー (📖23) の [無線通信の設定] で [Wi-Fi
設定] を選んだあと、[Wi-Fi] で [使わない] を選びます。
 - Bluetooth: [📶] メニュー (📖23) の [無線通信の設定]
で [Bluetooth 機能] を選んだあと、[Bluetooth 機能] で [使
わない] を選びます。
- カメラのニックネームは、[📶] メニュー (📖23) の [無線
通信の設定] の [ニックネーム] で、変更できます。

スマートフォンの事前準備

- カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケー
ション Camera Connect (無料) をインストールする必要があります。
- アプリケーションの詳細 (対応するスマートフォンや機能など) につ
いては、弊社 Web サイトで確認してください。
- Camera Connect は、Google Play または App Store からインス
トールすることができます。Google Play または App Store は、ス
マートフォンの登録時にカメラの画面に表示される QR コードからも
アクセスできます。
- スマートフォンの OS は、最新のバージョンをお使いください。
- スマートフォンの Bluetooth 機能と Wi-Fi 機能を ON にしてくださ
い。

スマートフォンと Bluetooth 接続する

Bluetooth 対応スマートフォンは、以下の手順でカメラと Bluetooth 接
続できます。



1 [無線通信の設定] を選ぶ

- [📶] メニュー (📖23) の [無線通信
の設定] を選びます。

2 Bluetooth を [使う] に設定する

- [Bluetooth 機能] を選びます。
- もう一度 [Bluetooth 機能] を選び、[使
う] を選びます。

3 ペアリングする

- [ペアリング] を選び、[表示しない] を
選びます。
- ペアリング中の画面が表示されます。
- 次の手順のスマートフォン操作で、カメ
ラとスマートフォンをペアリングします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 スマートフォンで Camera Connect を起動する



5 ペアリングするカメラを選ぶ

- ペアリングするカメラのニックネームをタッチします。
- Android の場合は手順 7 に進みます。



6 [ペアリング] をタッチする (iOS のみ)



7 カメラを操作してペアリングを完了する

- 接続確認画面で [OK] を選びます。
- 接続完了画面で [OK] ボタンを押します。
- ペアリングが完了して、スマートフォンと Bluetooth 接続されます。



- Bluetooth 接続中にバッテリーを取り出すと、Bluetooth 接続が切れます。バッテリーを入れて電源を入れると再接続します。

[Bluetooth 機能] の画面について

Bluetooth 機能

- スマートフォンと Bluetooth で通信するときは、[使う] を選びます。

ペアリング

- スマートフォンのペアリングを実行します。

接続先情報の確認／登録解除

- ペアリングした機器の名前や通信状態を確認できます。
- 他のスマートフォンとペアリングするときは、Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除してから行います (P.99)。

Bluetooth アドレス

- カメラの Bluetooth アドレスを確認できます。

スマートフォンでカメラを操作する

- Camera Connect で、[Bluetooth リモートコントローラー] を選びます。
- リモート撮影や再生操作を、カメラの画面を見ながら行えます。



- ペアリングしたあとは、カメラの電源が切れている状態でもバッテリーを消耗するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。
- カメラの電源を切っても Bluetooth で通信ができる状態になっているため、電子機器の使用が制限されている場所では、[メニュー] (P.23) の [無線通信の設定] で [Bluetooth 機能] を選んだあと、[Bluetooth 機能] を [使わない] に設定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影する画像に位置情報を付加する

Bluetooth で接続しているスマートフォンの GPS 機能を利用して、撮影する画像に位置情報（緯度／経度／標高など）を付加することができます。



1 Camera Connect を起動する

- Camera Connect が起動したスマートフォンを、手の届く範囲に配置します。

2 GPS 機能を利用できるようにする

- [📷] メニュー (📖23) の [GPS の設定] を選びます。
- [スマートフォン連携] で、[する] を選びます。
- スマートフォンの位置情報取得機能をオンにします。

3 撮影する

- カメラの画面に [📷] と [GPS] アイコンが点灯していることを確認して撮影します。アイコンが表示されないときは、INFOボタンを何回か押します。
- 撮影した画像に位置情報が付加されます。
- 次回以降、Camera Connect が起動した状態で撮影すると、撮影した画像に位置情報が付加されます。

位置情報の確認方法

- 位置情報を付加した画像を再生し、「詳細情報表示 2」(📖68) にすると、位置情報が確認できます。
- UTC (日付と時刻) は、グリニッジ標準時とほぼ同じ時刻です。



- 動画には撮影を始めたときの GPS 情報が記録されます。
- カメラの電源を入れた直後は位置情報が記録されないことがあります。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



スマートフォンと Wi-Fi 接続する

次のいずれかの方法で、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続します。
カメラの電源を切ると、Wi-Fi 接続は切断されます。

Bluetooth 接続中のスマートフォンと Wi-Fi 接続する

カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されているとき、以下の手順で Wi-Fi 接続できます。



1 Camera Connect の機能を選ぶ

- [カメラ内の画像一覧] を選びます。
- iOS のときは、カメラへの接続を確認する画面が表示されたら [接続] を選びます。

2 Wi-Fi 接続完了を確認する

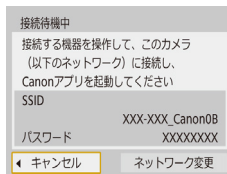
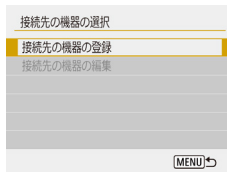
- Wi-Fi 接続が完了すると、スマートフォンに選んだ機能の画面が表示されます。
- カメラに [Wi-Fi 動作中] 画面が表示されます。

Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する



1 (P) ボタンを押す

- [P] を選びます。



2 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] を選び、[表示しない] を選びます。

3 SSID とパスワードを確認する

- SSID の末尾には「_Canon0B」と表示されます。

4 スマートフォンをカメラに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選んで接続します。
- スマートフォンのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。

5 Camera Connect を起動する

- カメラの画面に [スマートフォンで Canon アプリを起動してください] が表示されたら、スマートフォンの Camera Connect を起動します。

6 接続するカメラを選ぶ

- Camera Connect の [カメラ一覧] から、Wi-Fi 接続するカメラを選んでタッチします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





7 Wi-Fi 接続を確立する

- [OK] を選び、 ボタンを押します。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。
- スマートフォンに、Camera Connect のメイン画面が表示されます。
- Wi-Fi 接続は完了です。

■ アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法

カメラとスマートフォンを、アクセスポイント経由で接続することもできます。スマートフォンはアクセスポイントに接続しておきます。アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

1 [WPS (PBC 方式)] を選ぶ

- [] メニュー (📖 23) の [無線通信の設定] の [Wi-Fi 機能] で、 を選びます。
- [接続先の機器の登録] を選び、[表示しない] を選びます。
- 接続待機中の画面で [ネットワーク変更] を選びます。
- [WPS 機能で接続] を選び、[WPS (PBC 方式)] を選びます。

2 アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押す

3 カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶ

- カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

4 接続後、「Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する」(📖 88) の手順 5 に進み、以降の操作を行う



- 手順 1 で [WPS(PIN 方式)] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

スマートフォンでカメラを操作する

Camera Connect で、カメラ内の画像の閲覧や、リモート撮影などを行うことができます。

■ カメラ内の画像一覧

カメラ内の画像を閲覧したり、スマートフォンに保存したりすることができます。

■ リモートライブビュー撮影

スマートフォンでカメラのライブビュー映像を見ながら、リモート操作で撮影することができます。



- 4K 動画や高フレームレートの FHD 動画を長時間撮影すると、カメラ内部の温度が一時的に高くなり、 が表示され撮影が中断されます。そのときは、動画ボタンを押しても撮影できません。メッセージに当たって 以外の動画記録サイズに設定するか、電源を切ってカメラ内部の温度が下がってから撮影してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



スマートフォンに画像を送る

カメラから Wi-Fi 接続中のスマートフォンに画像を送信することができます。

■ カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る



1 メニューを操作する

- [📷] メニュー (📖23) の [無線通信の設定] で、[スマートフォンへ画像を送信] を選びます。
- 画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- 画像を選んで📷ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

■ カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る



1 画像を再生する

2 📷ボタンを押す

3 📱を選ぶ



4 画像を選ぶ

- 画像を選んで📷ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

■ 撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する

撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信することができます。



1 [スマートフォンへの撮影時画像送信] を選ぶ

- [📷] メニュー (📖23) の [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] で、[スマートフォンへの撮影時画像送信] を選びます。

2 自動送信の設定を行う

- [自動送信] を選び、[する] を選びます。
- [送信画像サイズ] を設定します。

3 撮影する

- スマートフォンに撮影した画像が送られます。

■ 公開する画像を設定する

スマートフォンに送信したり、スマートフォンで閲覧したりする画像を制限することができます。

1 Wi-Fi 接続を終了する (📖91)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





2 (P)ボタンを押す

- (P) を選びます。



3 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- スマートフォンを選びます。



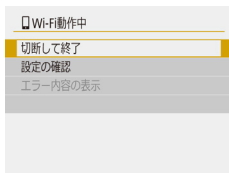
4 [公開画像の設定] を選ぶ

- 公開する画像を設定します。



- [公開画像の設定] で [すべての画像] 以外を設定しているときは、Camera Connect のリモートライブビュー撮影はできません。

Wi-Fi 接続を終了する



- (P) メニュー (P23) の [無線通信の設定] の [Wi-Fi 機能] で、[切断して終了] を選びます。
- Camera Connect 画面の [x] をタッチしても切断できます。

パソコンに画像を自動送信する

カメラが自宅など、あらかじめ Wi-Fi 接続設定したアクセスポイントの通信範囲内に置かれたとき、そのアクセスポイントに接続しているパソコンに、カメラ内の画像を自動的に送信するよう設定できます。

Wi-Fi 接続する



1 パソコンをアクセスポイント (Wi-Fi 親機) に接続する

- パソコンに Image Transfer Utility 2 をインストールしておきます。

2 Image Transfer Utility 2 を起動する

3 Image Transfer Utility 2 のペアリングを設定する画面を開く

- はじめて Image Transfer Utility 2 を起動したときは、画面の手順にしたがって操作を行うとペアリングを設定する画面が表示されます。

4 接続方式を選ぶ

- (P) メニュー (P23) の [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] で、[パソコンへの画像自動送信] を選びます。
- [自動送信] で [する] を選び、[OK] を選びます。
- [WPS 機能で接続] を選び、[WPS (PBC 方式)] を選びます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





5 WPS 用ボタンを押す

- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS 用ボタンを押すと、カメラとアクセスポイントの接続が行われます。



6 自動設定を選ぶ

- [IP アドレス設定] 画面が表示されます。[自動設定] を選びます。



7 パソコンを選ぶ

- アクセスポイントに接続しているパソコンの名前が表示されます。自動送信するパソコンを選びます。



8 パソコンでペアリングするカメラを選ぶ

- Image Transfer Utility 2 のペアリング画面にカメラのニックネームが表示されます。
- 接続するカメラを選び、[ペアリング] をクリックすると、パソコンとカメラの接続が完了します。

自動送信を設定する



9 送信条件を設定する

- [🔧] メニュー (📖 23) の [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] で、[パソコンへの画像自動送信] を選びます。
- [送信設定] で送信条件を設定します。
- カメラの電源を切ります。

自動送信する

- パソコンをログイン状態にし、アクセスポイントの通信範囲内でカメラの電源を入れると、手順 9 で設定した送信条件で、パソコンにカメラ内の画像を自動送信します。



- 画像の自動送信は、十分残量のあるバッテリーを使用して行ってください。節電機能は働きません。
- 自動送信が完了した後に撮影した画像は、パソコンに自動送信されません。カメラの電源を入れなおしたときに自動送信されます。



- パソコンへの画像自動送信は、アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の通信範囲内でカメラの電源を入れたあとに始まります。画像自動送信が始まらないときは、カメラの電源を入れなおしてください。
- 画像の自動送信をしないようにするときは、[パソコンへの画像自動送信] の [自動送信] で [しない] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/ プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



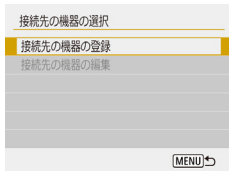
プリンターと Wi-Fi 接続する

カメラとプリンターを Wi-Fi 接続して、カメラ内の画像を印刷することができます。

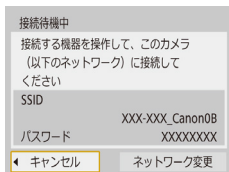
1 (P) ボタンを押す



2 [凸] を選ぶ



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ



4 SSID とパスワードを確認する

- SSID の末尾には「_Canon0B」と表示されます。

5 プリンターを操作してカメラに Wi-Fi 接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選んで接続します。



- プリンターのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。

6 Wi-Fi 接続するプリンターを選ぶ

- 使用しているプリンターを選び、(P) ボタンを押します。
- Wi-Fi 接続が完了すると、カード内の画像が表示されます。

7 画像を選んで印刷する

- 印刷する画像を選んで(P) ボタンを押します。
- 表示される項目を選択／設定して印刷します (P112)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ アクセスポイント（Wi-Fi 親機）経由での接続方法

プリンターがアクセスポイントに接続されているときは、カメラもそのアクセスポイントに接続し、アクセスポイント経由で印刷します。
アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

1 [WPS（PBC 方式）] を選ぶ

- [🔍] メニュー（📖 23）の [無線通信の設定] の [Wi-Fi 機能] で、[🔗] を選びます。
- [接続先の機器の登録] を選んだあと、接続待機中の画面で [ネットワーク変更] を選びます。
- [WPS 機能で接続] を選び、[WPS（PBC 方式）] を選びます。

2 アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押す

3 カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶ

- カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

4 接続後、「プリンターと Wi-Fi 接続する」（📖 93）の手順 6 に進み、以降の操作を行う

Web サービスへ画像を送る



- 2025 年の下期以降、欧州、中東、アフリカなどの一部の地域で発売されたものは、この機能は表示されず、使用できません。

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国／地域の情報は、弊社 Web サイト（<http://www.canon.com/cig/>）で確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY での操作や設定については、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



CANON iIMAGE GATEWAY を登録する

CANON iIMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録します。

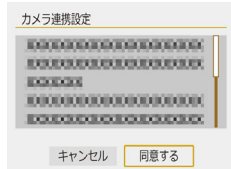
アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。

1 (P)ボタンを押す

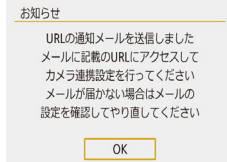
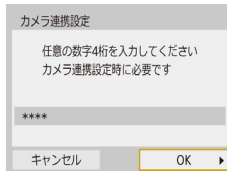
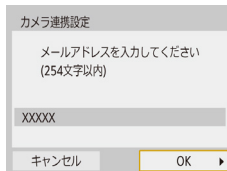


2 [☁] を選ぶ



3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示されている記載を読み、[同意する] を選びます。



4 アクセスポイントへの接続を始める

- [WPS 機能で接続] を選び、[WPS (PBC 方式)] を選びます。
- アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押します。
- カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶと、カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

5 メールアドレスを入力する

- カメラが CANON iIMAGE GATEWAY に接続すると、メールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力して次へ進みます。

6 4 桁の数字を入力する

- 任意の数字 4 桁を入力して次へ進みます。
- この 4 桁の数字は、手順 8 の CANON iIMAGE GATEWAY でカメラ連携の設定をするときに必要になります。

7 通知メールが送信されたことを確認する

- CANON iIMAGE GATEWAY に情報が送られると、手順 5 で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、(P)ボタンを押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- [クラウド] が [クラウド] になります。



8 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。

9 カメラに CANON iMAGE GATEWAY を設定する

- [クラウド] を選びます。
- CANON iMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。



- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていると、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。

ほかの Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iMAGE GATEWAY サイト「<http://www.canon.com/cig/>」へアクセスします。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



3 [クラウド] を選ぶ

- (P) ボタンを押して [クラウド] を選びます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



Web サービスに画像を送る

1 (P)ボタンを押す



2 接続先を選ぶ

- Web サービスのアイコンを選びます。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、送信先の選択画面が表示されるので、項目を選びます。

3 画像を送る

- 送信条件を選び、画像を選んで送信します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み「同意する」を選びます。
- 送信が完了したら表示される画面で「OK」が表示されます。(P)ボタンを押すと再生表示の画面に戻ります。



- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション Canon Online Photo Album を使うことをおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

2 回目以降の Wi-Fi 接続

一度 Wi-Fi 接続して接続設定が登録された機器や Web サービスに、再度 Wi-Fi 接続します。

1 (P)ボタンを押す

2 項目を選ぶ

- 表示された履歴から Wi-Fi 接続する項目を選びます。表示されていないときは◀ / ▶ボタンを押して画面を切り換えます。
- [P] メニュー (P23) [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] を [表示しない] に設定しているときは履歴は表示されません。



Web サービスのとき

- 手順 3 の操作は必要ありません。

3 接続先の機器を操作する

□スマートフォンのとき

- スマートフォンの Wi-Fi 機能を ON にして、Camera Connect を起動します。
- スマートフォンの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。カメラとスマートフォンを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾に「_Canon0B」と表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



凸プリンターのとき

- プリンターの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。カメラとプリンターを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾に「_CanonOB」と表示されます。

無線通信の設定を編集／消去する

接続設定を変更／削除する

カメラに保存されている接続設定の変更や削除を行います。接続設定の変更や削除は、Wi-Fi 接続を終了してから操作します。

1 (P)ボタンを押す

2 項目を選ぶ

- 左の画面が表示されたら◀ / ▶ボタンを押して画面を切り換えます。

- 左の画面から、接続設定の変更や削除を行う項目を選びます。

3 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- 表示される画面で接続設定の変更や削除する機器を選び、設定の変更や削除を行います。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

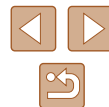
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

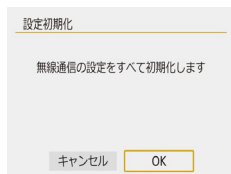
付録

索引



無線通信の設定を初期化する

無線通信の設定をすべて削除します。カメラを貸与したり譲渡したときに、無線通信の設定情報が流出することを防ぐことができます。



- [🔧] メニュー (📖 23) の [無線通信の設定] で、[設定初期化] を選びます。

Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除する

ほかのスマートフォンとペアリングするときは、接続しているスマートフォンの登録を解除します。

カメラ側の操作

- [🔧] メニュー (📖 23) の [無線通信の設定] の [Bluetooth 機能] で、[接続先情報の確認 / 登録解除] を選び、🔄 ボタンを押します。

スマートフォン側の操作

- スマートフォンを操作して、OS の Bluetooth 設定画面からカメラの登録を解除します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくなる

カメラの基本機能を変える

[F] メニュー (23) で設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

電子音を鳴らさない

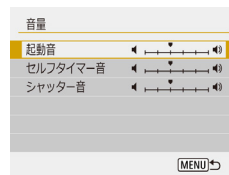
シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音を鳴らさないようにできます。



- [電子音] で、[切] を選びます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [音量] を選びます。
- 項目を選び、◀ / ▶ ボタンを押して音量を変えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



レンズ収納時間を変える

撮影状態から ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (120)。 ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



- [レンズ収納時間] で、[0 秒] を選びます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

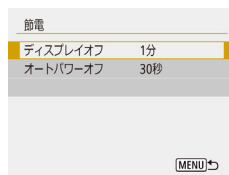
- [エコモード] で、[入] を選びます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能の設定を変える

自動で電源をオフにしたり (オートパワーオフ)、画面を消したり (ディスプレイオフ) するまでの時間を変えることができます。



- [節電] を選びます。
- 項目を選んだあと、▲ / ▼ ボタンを押して設定を変えます。



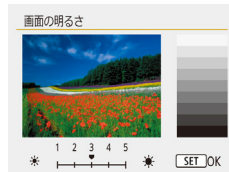
- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、[オートパワーオフ] を [30 秒] にし、[ディスプレイオフ] を [1 分] 以下にすることをおすすめします。



- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [しない] のときも働きます。
- エコモード (101) を [入] にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [画面の明るさ] を選び、◀ / ▶ ボタンを押して明るさを変えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 撮影画面や再生モードで1枚表示のときに▼ボタンを1秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（「[Y]」タブの「画面の明るさ」設定は無効になります）。もう一度▼ボタンを1秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を表示しない

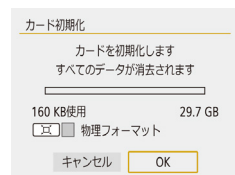
電源を入れたときに、起動画面を表示しないようにできます。



- 「起動画面」で、「切」を選びます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。



- 「カード初期化」を選びます。
- 「OK」を選ぶと、初期化がはじまります。



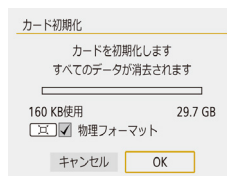
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「カードを初期化する」（102）の画面で、[OK] ボタンを押して「✓」を表示します。
- 「OK」を選ぶと、初期化がはじまります。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」（102）よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に「キャンセル」を選ぶと、初期化をキャンセルできます。キャンセルしてもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

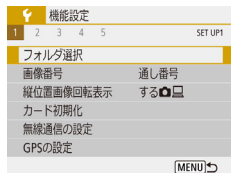
付録

索引



フォルダを選択／作成する

画像を保存するフォルダを選択したり、新しく作成することができます。フォルダ選択画面で「フォルダ作成」を選ぶと、新しいフォルダを作成できます。



1 「フォルダ選択」画面を表示する

- 「フォルダ選択」を選びます。



2 設定する

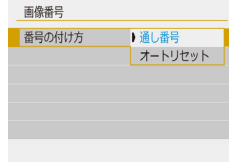
- 画像を保存するフォルダを選びます。
- 新しいフォルダを作成するときは、「フォルダ作成」を選びます。



- フォルダ名は、「100CANON」のように先頭3桁の数字（フォルダ番号）と、5文字の英数字で構成されています。
- フォルダは100～999まで作成することができます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に0001～9999の番号がつけられ、1つのフォルダに9999枚まで保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- 「[画像番号]」を選び、目的の内容を選びます。

通し番号	画像番号9999の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が0001に戻ります。
強制リセット	新しくフォルダを作成し、画像番号0001から始まります。



- 「[通し番号]」「[オートリセット]」とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号0001の画像から順に保存したいときは、初期化（102）したカードをお使いください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

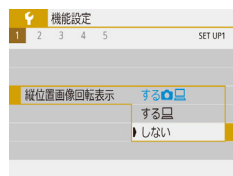
付録

索引



自動回転機能を切る

カメラ再生やパソコン画面で見るときに、カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [縦位置画像回転表示] で、[しない] を選びます。

する 	カメラとパソコンで見るときに自動回転する
する 	パソコンで見るときだけ自動回転する
しない	自動回転しない



- [縦位置画像回転表示] を [しない] で撮影した画像は、[する] に設定しても自動で回転表示されません。

距離表示の単位を変える

ズームバー (📖26)、MF インジケーター (📖56) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



- [単位] で、[ft/in] を選びます。

認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選びます。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



- [言語] で言語を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



HDMI 出力解像度を変える

解像度が異なる動画をテレビに HDMI 出力すると、解像度が切り換わる
とき、表示されるまでに時間がかかることがあります。4K 動画を FHD
に変換して、出力する解像度を FHD に固定すると、表示されるまでに時
間がかかるのを防ぐことができます。



- [HDMI 出力解像度] で [1080p] を選
びます。

その他の基本機能を変える

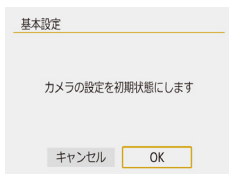
次の機能も [🔧] メニューで設定できます。

- [ビデオ方式] (📖 108)
- [無線通信の設定] (📖 83)
- [GPS の設定] (📖 87)
- [鏡像表示] (📖 22)

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

基本設定を初期化する

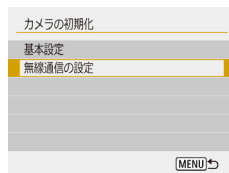


- [カメラの初期化] で、[基本設定] を選
びます。
- [OK] を選ぶと、カメラの基本設定が初
期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [🔧] メニュー (📖 23) の [日付 / 時刻 / エリア] (📖 16)、
[言語] (📖 104)、[ビデオ方式] (📖 108)
 - [Bluetooth 機能] 以外の [無線通信の設定] で登録した内容
(📖 83)

無線通信の設定を初期化する



- [カメラの初期化] で、[無線通信の設定]
を選びます。
- [OK] を選ぶと、無線通信の設定が初期
状態に戻ります。

機能の説明を表示しない

クイック設定 (📖 23) や MENU (📖 23) で項目を選ぶと、機能
の説明が表示されます。この説明を表示しないにすることができま
す。



- [🔧] メニュー (📖 23) の [機能ガ
イド] を選び、[表示しない] を選びます。



- [🔧] メニュー (📖 23) の [メニュー表示] で、メニューの
表示方法を変えることができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

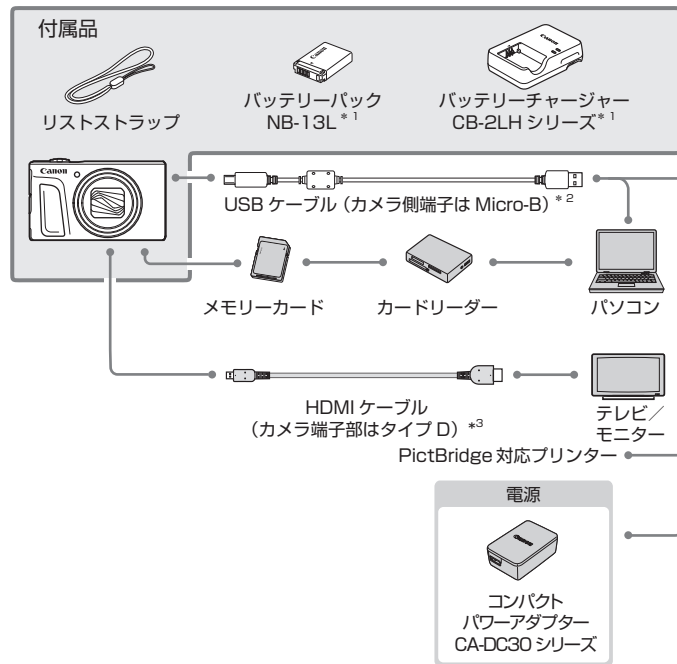
索引



アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ



*1 別売りも用意されています。

*2 キヤノン純正品（インターフェースケーブル IFC-600PCU）もあります。

*3 長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

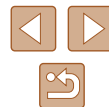
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



アクセサリはキャノン純正品のご使用をおすすめします

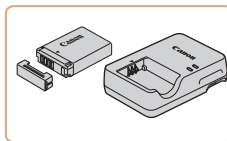
本製品は、キャノン純正の専用アクセサリと組み合わせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリ

必要に応じて買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源



バッテリーパック NB-13L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LH シリーズ

- バッテリーパック NB-13L 用のバッテリーチャージャーです。



- バッテリーチャージャーは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
- このカメラでキャノン純正以外のバッテリーをお使いになると、[バッテリー通信エラー] のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。



- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

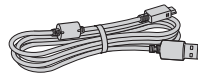




コンパクトパワーアダプター CA-DC30 シリーズ

- 付属のバッテリーをカメラに入れて充電します。カメラとつなぐには、インターフェースケーブル IFC-600PCU（別売）が必要です。

その他



インターフェースケーブル IFC-600PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。

別売アクセサリーの使いかた

テレビで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。

なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

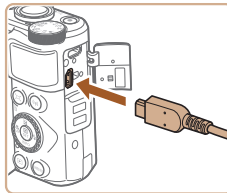
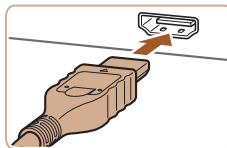


- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（図 120）。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。
- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

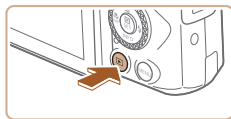
付録

索引



3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順2の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- HDMI 出力中に 4K 動画とハイビジョン画質の動画を切り換えたり、異なるフレームレートの動画に切り換えると、次の画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。



- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。

バッテリーを入れて充電する

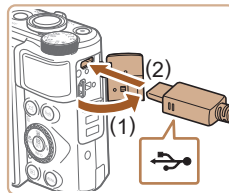
付属のバッテリーとコンパクトパワーアダプター CA-DC30 シリーズ(別売)、インターフェースケーブル IFC-600PCU(別売)を使ってバッテリーを充電します。

1 バッテリーを入れる

- 「バッテリーとカード(市販品)を入れる」の手順1(15)の操作でふたを開きます。
- 「バッテリーとカード(市販品)を入れる」の手順2(15)のバッテリーを入れる方法と同じ操作でバッテリーを入れます。
- 「バッテリーとカード(市販品)を入れる」の手順4(16)の操作でふたを閉めます。

2 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き(1)、インターフェースケーブル(別売)の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます(2)。
- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをコンパクトパワーアダプターに差し込みます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

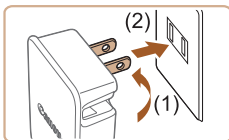
設定メニュー

アクセサリ

付録

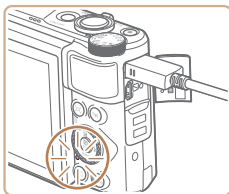
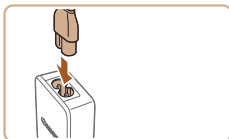
索引





3 充電する

- コンパクトパワーアダプターを図のようにコンセントにつなぎます。
- 電源コードがあるタイプのコンパクトパワーアダプターは、電源コードをコンパクトパワーアダプターにつないで、反対側をコンセントに差し込みます。



- 充電がはじまり、USB 充電ランプが点灯します。
- 充電が完了すると、ランプは消灯します。
- コンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、カメラからインターフェースケーブルを外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 別のバッテリーを充電するときは、必ずカメラからインターフェースケーブルを外した状態でバッテリーを交換し充電してください。



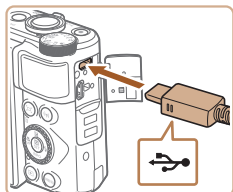
- USB 充電ランプが点灯しないときは、インターフェースケーブルを一度抜いてから差しなおしてください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ プラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引

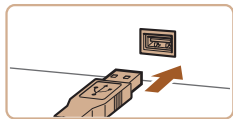


パソコンを使って充電する

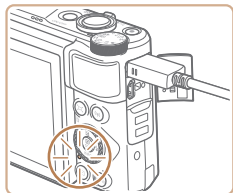
「バッテリーを入れて充電する」の手順 2 (109) で、インターフェースケーブルの大きいほうのプラグをパソコンの USB 端子につないで充電することもできます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。なお、インターフェースケーブル IFC-600PCU (別売) を使うことをおすすめします。



- カメラの電源が切れた状態でふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。



- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンに差し込みます。パソコンとのつながりかたについては、パソコンの使用説明書を参照してください。



- ランプ (背面) がオレンジ色に点灯して充電が始まります。
- ただし、「パソコンに画像を取り込む」 (112) の操作でカメラからパソコンへのデータ転送しているときは、さらに時間がかかることがあります。
- 充電が完了すると、ランプが消えます。



- 「パソコンに画像を取り込む」 (112) の操作でカメラからパソコンへのデータ転送しているときは、時間がかかることがあります。
- 上記の操作で充電を開始したあとにカメラの電源ボタンを押して電源を切るとカメラのランプ (背面) が消え、充電が停止されます。
- パソコンによってはカードを入れていないと充電できないことがあります。カメラにカードを入れてから (15)、パソコンの USB 端子につないでください。

ソフトウェアを使う

お使いのパソコンに、弊社 Web サイトからソフトウェアをダウンロードしてインストールすると、次のようなことができます。

- Image Transfer Utility 2 (イメージトランスファーユーティリティ 2)
 - パソコンへの画像自動送信 (91)



- パソコンで画像を見たり編集するときは、カメラで撮影した画像に対応したソフトウェア (パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア) をお使いください。



- 弊社 Web サイトより最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

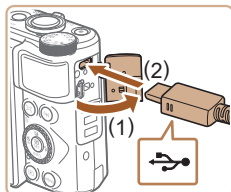
付録

索引



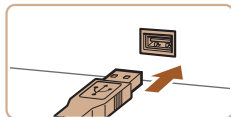
パソコンに画像を取り込む

パソコンにインターフェースケーブル IFC-600PCU（別売）や市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンに差し込みます。パソコンとのつなぎ方については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- カメラとパソコンがつながると、自動でカメラの電源が入ります。

2 画像を取り込む

- パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェアを使って、画像を取り込みます。

印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

かんたん印刷

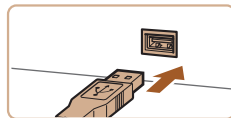
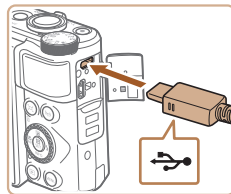
▶ 静止画 ▶ 動画

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷することができます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

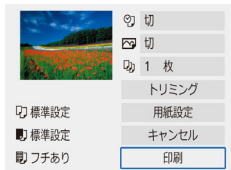


4 画像を選ぶ



5 印刷画面を表示する

- [P] ボタンを押したあと、[この画像を印刷] を選び、[P] ボタンを押します。

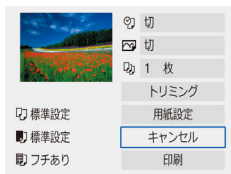


6 印刷する

- [印刷] を選びます。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときには、印刷が終わったあと、手順 4 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。

印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 5 (P112) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- 項目を選び、目的の内容を選びます。

印刷指定 (DPOF)

▶ 静止画 ▶ 動画

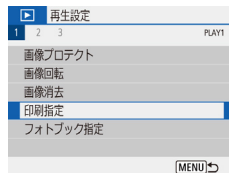
カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括で印刷したり(最大 400 画像)、写真店へ印刷を注文することができます(最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。



- 動画は指定できません。

印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



1 [印刷指定] を選ぶ

- [P] メニュー (P23) の [印刷指定] を選びます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

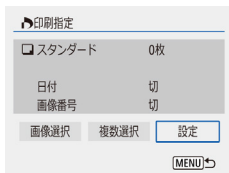
設定メニュー

アクセサリ

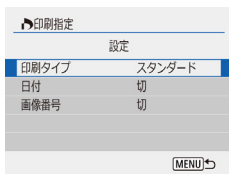
付録

索引





2 [設定] を選ぶ

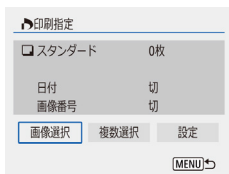


- 設定する項目を選び、目的の内容を選びます。
- MENUボタンを押して印刷指定画面に戻ります。



- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- ほかのカメラで印刷指定した画像を、このカメラで再度印刷指定しないでください。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。

印刷する画像を指定する

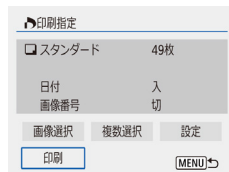


1 印刷する画像を選ぶ

- 「印刷内容を指定する」(p.113)の手順1の操作で左の画面を表示します。
- [画像選択] か [複数選択] を選び、 ボタンを押します。
- 表示される画面内容にしたがって、印刷指定する画像を選びMENUボタンを押します。

印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



- カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐと再生画面が表示されます。 ボタンを押し、次の画面で [印刷指定] を選ぶと、この画面が表示されます。
- [印刷] を選び、次の画面で [OK] を選ぶと指定した画像が印刷されます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

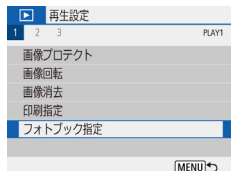
索引



フォトブック指定

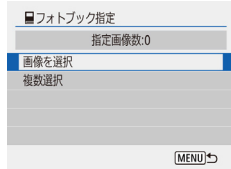
カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定できます（最大 998 画像）。

1 枚ずつ指定する



1 [フォトブック指定] を選ぶ

- [] メニュー (23) の [フォトブック指定] を選びます。



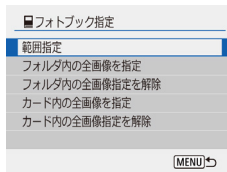
2 [画像を選択] を選ぶ



3 画像を選ぶ

- 画像を選び、[] ボタンを押します。
- [✓] が表示されます。
- もう一度 [] ボタンを押すとフォトブック指定が解除されます。[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- MENU ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

複数の画像をまとめて指定する



- 「1 枚ずつ指定する」(115) の手順 2 の操作で [複数選択] を選び、左の画面を表示します。
- 項目を選び、[] ボタンを押します。
- 表示される画面内容にしたがって、指定する画像を選びます。



- ほかのカメラで印刷指定した画像を、このカメラで再度印刷指定しないでください。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- 動画は指定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、修理受付窓口へご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、修理受付窓口へご相談ください。

撮影

撮影できない

- 再生表示のとき (P.67) は、シャッターボタンを半押ししてください (P.21)。

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動画の撮影や再生が途中で止まる

- [4k29.97P] [4k25.00P] は、UHS-I (UHS スピードクラス 3) 対応のカードをお使いください。

画像がボケて撮影される

- 意図しない機能 (マクロ撮影など) が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください (p59、p60)。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- 露出補正で明るさを補正してください (p52)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (p52、p52)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- 露出補正で明るさを補正してください (p52)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (p52、p52)。
- 被写体に当たっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (p29)

- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (p62、p66)。
- ISO 感度を高くしてください (p53)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (p62、p66)。

動画撮影

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。

Wi-Fi

(p) ボタンを押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- カメラをプリンターまたはパソコンとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (p123) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



メッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

エラー表示

- カメラに異常が発生すると、エラー番号 (Errxx) と原因・対処方法が表示されます。

番号	メッセージ／対処方法
02	カードにアクセスできません。カードを入れなおすか、交換するか、このカメラで初期化してください → カード抜き差し、カード交換、カード初期化
04	カードがいっぱいになったため、記録できませんでした。カードを交換してください → カード交換、不要画像の消去、カード初期化
10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 99	エラーが発生したため撮影できません。電源を入れなおすか、バッテリーを入れなおしてください → 電源ボタン操作、バッテリーの出し入れ

* 問題が解決しないときは、エラー番号 (Errxx) を控えて、修理受付窓口へご相談ください。

Wi-Fi

ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が存在します

- ほかの機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

サーバーの空き容量が不足しています

- Web サーバー内の不要な画像を消去し、Web サーバーの空き容量を確認してから再度送信してください。

ネットワークの設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

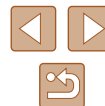
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

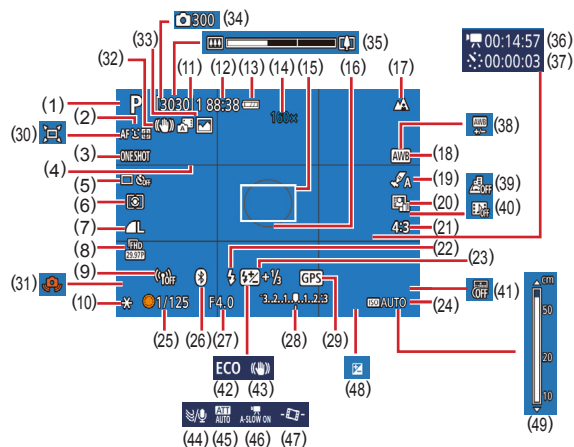
付録

索引



画面の表示内容一覧

撮影時（詳細情報表示）



- (1) 撮影モード、シーンアイコン (29)
- (2) AF 方式 (57)
- (3) AF 動作 (59)
- (4) グリッド (35)
- (5) ドライブモード (33、34)
- (6) 測光モード (52)
- (7) 記録画質 (35)
- (8) 動画記録サイズ (47)
- (9) Wi-Fi 通信状態
- (10) AE ロック (52)
- (11) 撮影可能枚数、連続撮影可能枚数
- (12) 撮影可能時間
- (13) バッテリー残量表示 (119)
- (14) ズーム倍率 (30)、デジタルテレコンバーター (57)
- (15) AF フレーム (57)
- (16) スポット測光枠 (52)
- (17) フォーカスゾーン (56、56)、AF ロック (60)
- (18) ホワイトバランス (54)

- (19) スタイル設定 (55)
- (20) オートライティング最適マイザ (53)
- (21) 静止画アスペクト比 (34)
- (22) ストロボモード (61)、FE ロック (62)
- (23) ストロボ調光補正 (62)、ストロボ発光モード (66)
- (24) ISO 感度 (53)
- (25) シャッタースピード (64、65)
- (26) Bluetooth 通信状態 (85)
- (27) 絞り数値 (65、65)
- (28) 露出レベル (65)
- (29) Bluetooth スマートフォン連携 GPS 情報取得状態 (87)
- (30) 〇〇オート (31)
- (31) 手ブレ警告 (29)
- (32) マルチシーン IS (30)
- (33) プラスムービーオートモード/ダイジェスト形式 (28)
- (34) 撮影回数 (49)
- (35) ズームバー (26)
- (36) 撮影所要時間 (49)
- (37) 再生時間 (49)
- (38) ホワイトバランス補正 (55)
- (39) ジオラマ風動画 (49)
- (40) ビデオスナップ (50)
- (41) 日付写し込み (33)
- (42) エコモード (101)
- (43) 手ブレ補正 (63)
- (44) ウィンドカット (48)
- (45) アッテネーター (48)
- (46) オートスローシャッター (48)
- (47) 自動水平補正 (36)
- (48) 露出補正量 (52)
- (49) MF インジケータ (56)

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
(赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
	残量がありません。すぐに充電してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

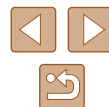
無線機能

設定メニュー

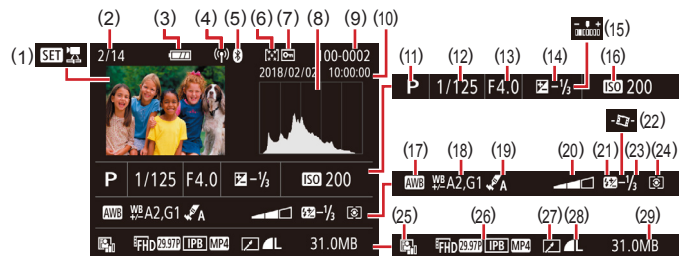
アクセサリ

付録

索引



再生時（詳細情報表示）



- | | |
|---|-------------------------------------|
| (1) 動画再生 (26、 67)、
ダイジェスト動画再生 (28) | (16) ISO 感度 (53) |
| (2) 再生画像番号／総画像数 | (17) ホワイトバランス (54) |
| (3) バッテリー残量表示 (119) | (18) ホワイトバランス補正 (55) |
| (4) Wi-Fi 通信状態 | (19) スタイル設定 (55) |
| (5) Bluetooth 通信状態 (85) | (20) フィルター効果 (39) |
| (6) レーティング (77) | (21) ストロボ発光 (61) |
| (7) 画像プロテクト (72) | (22) 自動水平補正 (36) |
| (8) ヒストグラム (69) | (23) ストロボ調光補正量 (62)、
動画圧縮 (80) |
| (9) フォルダ番号－画像番号
(103) | (24) 測光方式 (52) |
| (10) 撮影日時 (16) | (25) オートライティングオブティマイ
ザ (53) |
| (11) 撮影モード | (26) 動画記録サイズ (47) |
| (12) シャッタースピード (64、
65) | (27) 画像編集 (77) |
| (13) 絞り数値 (65、 65) | (28) 静止画：記録画質 (35) *
動画：再生時間 |
| (14) 露出補正量 (52) | (29) ファイルサイズ |
| (15) 明るさ (39) | |

* トリミングした画像では [] と表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

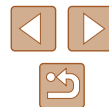
無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、修理受付窓口にご相談ください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは 1 年に 1 回程度充電し、使い切ってから保管してください。

主な仕様

撮像素子

イメージサイズ.....1/2.3 型
カメラ部有効画素数
(画像処理により画素数が減少することがある。).....約 2030 万画素
総画素数.....約 2110 万画素

レンズ

焦点距離 (35mm 判換算値)4.3 - 172.0 mm
(24 - 960 mm)
ズーム倍率.....40 倍

撮影距離 (レンズ先端からの距離)

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (ⓘ)にしたとき	もっとも望遠側 (Ⓜ)にしたとき
AUTO*	—	1 cm - ∞	2.0 m - ∞
上記以外	▲A	5 cm - ∞	2.0 m - ∞
	🌸	1 - 50 cm	—

* マニュアルフォーカス設定時と同じ

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ シャッター

シャッタースピード

撮影モード：AUTO 時（自動設定）

最長 Tv 1 秒
最短 Tv 1/3200 秒

全撮影モードをあわせた範囲

最長 Tv 15 秒
最短 Tv 1/3200 秒

設定できる Tv 値（秒）

対象撮影モード M モード / Tv モード
15, 13, 10, 8, 6, 5, 4, 3.2,
2.5, 2, 1.6, 1.3, 1, 0.8, 0.6,
0.5, 0.4, 0.3, 1/4, 1/5, 1/6,
1/8, 1/10, 1/13, 1/15,
1/20, 1/25, 1/30, 1/40,
1/50, 1/60, 1/80, 1/100,
1/125, 1/160, 1/200,
1/250, 1/320, 1/400,
1/500, 1/640, 1/800,
1/1000, 1/1250, 1/1600,
1/2000, 1/2500, 1/3200

■ 絞り

F 値

Wide 端 3.3 - 8.0
Tele 端 6.9 - 8.0

■ ストロボ制御

内蔵ストロボ

ストロボ調光範囲（Wide 端）

最短 約 50 cm
最長 約 5.0 m

ストロボ調光範囲（Tele 端）

最短 約 2.0 m
最長 約 2.5 m

■ モニター

形式 TFT カラー液晶

画面サイズ 3.0 型

ドット数 約 92 万ドット

■ 撮影関係

デジタルズーム

倍率 約 4 倍
光学ズームとあわせた最大倍率 約 160 倍
焦点距離（Tele 端、
35mm 判換算値） 約 3840mm 相当
プログレッシブファインズーム
（記録画素数 L） 約 80 倍

連続撮影

撮影速度 *

ワンショット AF 時

高速連続撮影速度 最高：約 10.0 コマ / 秒
低速連続撮影速度 最高：約 4.0 コマ / 秒

サーボ AF 時

高速連続撮影速度 最高：約 7.4 コマ / 秒
低速連続撮影速度 最高：約 4.0 コマ / 秒

* 連続撮影速度は次の条件で低下することがあります。

Tv 値 / Av 値 / 被写体条件 / 撮影環境 / ストロボ使用 / ISO 感度 / ズーム位置

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



記録関係

ファイルフォーマット.....DCF 準拠、DPOF 対応
(Version 1.1)

データタイプ

静止画

記録形式.....Exif2.31 (DCF2.0)
画像.....JPEG のみ

動画

記録形式.....MP4
映像.....MPEG-4 AVC/H.264
音声.....MPEG-4 AAC-LC (stereo)

電源

バッテリーパック.....NB-13L

静止画撮影枚数 (CIPA 準拠: 常温 23℃)	約 265 枚
静止画撮影枚数 (エコモード時)	約 370 枚
動画撮影時間 (CIPA 準拠: 常温 23℃)	約 60 分
動画撮影時間 (連続撮影時)	約 100 分
再生時間 *	約 4 時間

* 静止画をスライドショーで再生したときの時間

インターフェース

有線

デジタル端子.....Micro USB
HDMI 出力端子.....Type D

無線

Bluetooth
準拠規格.....Bluetooth Ver. 4.1
(Bluetooth low energy 技術)

Wi-Fi

準拠規格.....IEEE802.11n/g/b
送信周波数
周波数帯.....2.4GHz
チャンネル.....1-11ch

セキュリティ

インフラストラクチャー
モード.....WPA2-PSK (AES/TKIP)、
WPA-PSK (AES/TKIP)、WEP
*Wi-Fi Protected Setup 準拠

カメラアクセスポイント

モード.....WPA2-PSK (AES)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 動作環境

温度.....最低：0℃、最高：40℃

■ 大きさ (CIPA 準拠)

W.....約 110.1mm

H.....約 63.8mm

D.....約 39.9mm

■ 質量 (CIPA 準拠)

バッテリーパック・メモリーカード

含む.....約 299g

本体のみ.....約 275g

■ バッテリーパック NB-13L

形式：リチウムイオン充電電池

公称電圧：DC 3.6 V

公称容量：1250 mAh

充放電回数：約 300 回

使用温度：0 - 40℃

■ バッテリーチャージャー CB-2LH

定格入力：AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)
0.09 A (100 V) - 0.06 A (240 V)

定格出力：DC 4.2 V、0.7 A

充電時間：約 2 時間 10 分 (NB-13L 充電時)

使用温度：5 - 40℃

■ コンパクトパワーアダプター CA-DC30

定格入力：AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)
0.07 A (100 V) - 0.045 A (240 V)

定格出力：DC 5.0 V、0.55 A

充電時間：約 2 時間 50 分 * (NB-13L をカメラ内に入れての
充電時)

* バッテリーの残量により、充電時間は大きく変わります。

使用温度：5 - 40℃

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



索引

アルファベット

A

AE ロック 52
AF 方式 57
AF ロック 60
Av (撮影モード) 65

B

Bluetooth 83

C

Camera Connect 83
CANON IMAGE GATEWAY 94

D

DPOF 113

F

FE ロック 62

G

GPS 情報記録 87
GPS 情報表示 69

H

HDMI ケーブル 108

I

ISO 感度 53

M

M (撮影モード) 65

P

P (撮影モード) 51
PictBridge
(ピクトブリッジ) 108, 112

S

SD/SDHC/SDXC カード → カード

T

Tv (撮影モード) 64

W

Web サービスへの送信 94
Wi-Fi 機能 83

かな

あ

赤目補正 79
アクセサリ 107

い

色あい (ホワイトバランス) 54
印刷 112

う

ウィンドカット 48
打ち上げ花火 (撮影モード) 42

え

エコモード 101
エラー表示 118

お

オートモード (撮影モード) 18, 26
お気に入り設定 (レーティング) 77

か

カード 2
回転 76
拡大表示 71
画像
消す 74
再生 → 見る
表示時間 38
保護 72
画像番号 103
画像を送る 94
画像をパソコンに取り込む 112
カメラの初期化 105
画面
表示一覧 119, 120
表示言語 17
メニュー → クイック設定、メ
ニュー

き

キャッチ AF 58
魚眼風 (撮影モード) 44
記録画質 35

く

クイック設定
基本操作 23
グリッド 35

け

消す 74
検索 70

こ

故障 116

さ

サーボ AF 59
再生 → 見る
撮影
撮影情報 119
撮影日時 → 日付/時刻/エリア

し

ジオラマ風 (撮影モード) 46
自分撮り (撮影モード) 40
消去 → 消す
初期状態 → 設定初期化

す

ズーム 27, 30
ストラップ 2, 14
ストロボ
ストロボ発光 61
ストロボ発光禁止 61
スローシンクロ 61
調光補正 62
スマートフォンへの送信 83
スライドショー 72

せ

接続情報の編集/消去 98
設定初期化 105
節電 101
セルフタイマー 33

そ

測光方式 52
ソフトウェア
パソコンへの取り込み 112
ソフトフォーカス (撮影モード) 44

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



た

縦横比を変える 34
端子 112

て

デジタルズーム 30
デジタルテレコンバーター 57
手持ち夜景（撮影モード） 41
テレビで見る 108
電源 107 → バッテリー → バッテ
リーチャージャー（充電器）
電子音 100

と

トイカメラ風（撮影モード） 46
動画
記録サイズ 47
編集 79
トリミング
（画像の切り抜き） 78

に

日時 → 日付／時刻／エリア

は

バッテリー
エコモード 101
残量表示 119
充電 15
節電 101
バッテリーチャージャー
（充電器） 2, 107
花火 → 打ち上げ花火（撮影モード）

ひ

ピクトブリッジ
（PictBridge） 108, 112
日付／時刻／エリア
設定 16
美肌（撮影モード） 43
表示言語 17
ピント合わせ
AF方式 57
AFロック 60
MFピーキング 57
サーボ AF 59

ふ

フォーカスゾーン
マクロ 56
マニュアルフォーカス 56
フォトブック指定 115
付属品 2
プラスムービーオート
（撮影モード） 28
プリント → 印刷
フレーミングアシスト 31
プログラム AE 51

へ

編集
赤目補正 79
トリミング
（画像の切り抜き） 78
リサイズ
（画像を小さくする） 77

ほ

ポートレート（撮影モード） 41
保護 72
ホワイトバランス（色あい） 54

ま

マクロ（フォーカスゾーン） 56
マニュアルフォーカス
（フォーカスゾーン） 56
マニュアルホワイトバランス 54

み

見る 19
1枚表示 19
インデックス表示 70
拡大表示 71
画像の検索 70
スライドショー 72
テレビで見る 108

め

メニュー
基本操作 23
メモリーカード → カード

ら

ラフモノクロ（撮影モード） 43
ランプ 25, 37, 38

り

リサイズ（画像を小さくする） 77
リストストラップ → ストラップ

れ

連続撮影 34

ろ

露出
AEロック 52
FEロック 62
補正 52

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



無線機能について

- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法により規制されている貨物または技術に該当するものを外国へ輸出（外国への持ち出し、国内における非居住者への開示を含む。）する場合、必要に応じ日本政府の輸出許可または役務取引許可を受ける必要があります。
- 本製品には、米国製暗号化品目が搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる Wi-Fi の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線機能の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは無線機能の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。本製品の無線機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 第三者のソフトウェア

- AES-128 Library
Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK.
All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

- CMSIS Core header files
Copyright (C) 2009-2015 ARM Limited.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



- KSDK Peripheral Drivers, Flash / NVM, KSDK H/W Abstraction Layer (HAL)
(c) Copyright 2010-2015 Freescale Semiconductor, Inc.
ALL RIGHTS RESERVED.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the <organization> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL <COPYRIGHT HOLDER> BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときのご注意

カメラに個人情報を登録したり Wi-Fi のパスワードなどのセキュリティ情報を設定したときは、それらの情報がカメラ内に残っている可能性があります。

カメラを貸したり修理などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、情報の漏洩を避けるため、以下の作業を行ってください。

- 設定したセキュリティ情報は、無線通信の設定にある [設定初期化] を使って消してください。

■ 商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キャノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setup を意味しています。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。

HDMI[™]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/ ブラスムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
Tv、Av、Mモード
再生
無線機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

■ このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/
プラスムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

Tv、Av、Mモード

再生

無線機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

